

2019年度

事業報告書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

目 次

第1	概要	1
第2	事業の状況	2
1.	「科学振興のための研究助成と研究交流」事業	2
2.	「日中未来共創プロジェクト」事業	7
3.	「科学知識の普及・啓発」事業	12
第3	会議等	17
第4	その他の重要事項	20

【別表】

(1)	2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）	22
(2)	2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）	33
(3)	2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表	34
(4)	2018年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表	39
(5)	2019年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表	40
(6)	2019年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表	41
(7)	役員名簿	42
(8)	評議員名簿	43

第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。

また、中国への図書の寄贈を通じた文化交流については、高まる日本関係図書への需要に応じる形で大学図書館への寄贈を継続しており、国家間の問題を超越して、着実な進展を見せている。

2019年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、2019年度笹川科学研究助成は、318件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の展開を支援するため、その研究成果発表を支援し、学術成果の広範な浸透・普及を図った。

2. 日本で収集した日本関係図書約5万冊を中国の大学・研究機関に寄贈し、日本文化の理解促進を図るとともに、日中双方向の「作文コンクール」や「日本知識大会」、「日本研究論文コンクール」等を実施することにより、日中間の相互理解の促進と友好意識の醸成を目指した

3. Webサイトの科学実験データベースのリニューアルとコンテンツの追加、科学映像教材を使った科学体験講座の実施、広く一般に生命科学の基礎知識を身に付けてもらうための本会独自のテキストの制作、経験豊かな科学者による中学生・高校生への研究指導（メンター）事業の実施、若手研究者の資質を向上させるためのセミナーの開催等を通じて、様々な角度から広く科学知識の普及・啓発に努めた。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当初予定していたイベント等が一部延期や中止となった。

第2 事業の状況

1. 「科学振興のための研究助成と研究交流」事業

【事業経費：231,397,106円（間接経費を除く）】

本事業の1)～6)については、ポートレース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、7)については、自己財源による自主事業として実施した。

(1) 内 容

1) 若手研究者の研究奨励（学術研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域：人文・社会科学および自然科学（医学を除く）
- ③ 助成件数：302件 ※研究中止3件を含む

[別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）]

- ④ 助成金額：188,254,260円（1件当たり平均金額629,613円）
- ⑤ 申請資格：大学院生あるいは大学等の所属機関で非常勤・任期付き雇用研究者であって、35歳以下の者。但し、『海に関する研究』は重点テーマとして支援し、雇用形態は問わない。

2) 特定分野の研究奨励（実践研究）

- ① 名 称：笹川科学研究助成
- ② 対象領域
 - ・ 教員・NPO職員等が行う問題解決型研究：
学校、NPOなどに所属している方が、その活動において直面している社会的諸問題の解決に向けて行う実践的な研究
 - ・ 学芸員・司書等が行う調査・研究：
学芸員・司書等が生涯学習施設の活性化に資する調査・研究
- ③ 助成件数：16件

[別表(2) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）]

- ④ 助成金額：4,847,602円（1件当たり平均金額302,975円）
- ⑤ 申請資格：専門的立場にある者（教員、学芸員、図書館司書、カウンセラー、指導員等）あるいは問題解決に取り組んでいる当事者など



	対象領域	助成件数
学術研究	人文・社会系	33件
	数物・工学系	40件
	化学系	39件
	生物系	144件
	複合系	46件
実践研究	教員・NPO職員等	12件
	学芸員・司書等	4件
合 計		318件

3) 研究成果公表支援（海外発表助成）

① 2019年度海外発表促進助成

- a. 申請資格：笹川科学研究助成を受けた者
- b. 助成件数：74件
- c. 助成金額：14,551,070円（1件当たり平均金額196,636円）

[別表(3) 2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表]

② 2020年度海外発表促進助成の募集案内および第1期助成計画策定

4) 「笹川科学研究奨励賞」の授与

- ① 名 称：笹川科学研究奨励賞
- ② 対 象：2018年度笹川科学研究助成者から、笹川科学研究助成選考委員会で選出された16名（研究領域ごとに2名ずつ）。選考に当たっては単に研究の内容や成果だけに捉われず、研究に対する取組み姿勢なども評価した。
- ③ 内 容：賞状と副賞10万円

[別表(4) 2018年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表]

5) 「研究奨励の会」等の開催

2019年4月19日（金）にANAインターコンチネンタルホテル東京において、笹川スポーツ財団と合同で「研究奨励の会」等を開催し、340名が参加した。

① 「研究発表会」

笹川科学研究助成奨励賞受賞者による受賞記念発表会を開催した。



② 「研究奨励の会」

2019年度笹川科学研究助成の交付決定通知書を手交した。

③ 「研究者交流会」

若手研究者間の情報交換の会を開催した。

6) 研究助成の推進

① 2020年度笹川科学研究助成計画原案の作成

a. 募集計画策定等

募集要項の作成および選考方針については、笹川科学研究助成事業委員会において、また、選考基準や選考細則については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。各系の中から「海に関係する研究」を重点テーマとして拾い上げる事で、より広い意味での海洋関連科学への助成を行うこととした。

b. 公募

大学、研究機関、学会等約700箇所および博物館、図書館等約600箇所に募集のためのメール配信を行い、広く周知した。

・募集期間：2019年9月17日～2019年10月16日

・応募件数：1,101件の研究計画の申請を受付した。

(学術研究 1,051件、実践研究 50件)

c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2020年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

② 2018年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

③ 研究助成実績資料の整備

7) 自主事業（新規事業）

笹川科学研究助成事業は、優れた若手研究者を発掘し社会で活躍するより多くの優秀な若手研究者の育成を目的として、研究助成支援と海外発表支援を進めてきた。これらに加えて、笹川科学研究助成のOB・OG（以下、「過去助成者」）が行っている研究内容を社会へ発信して周知することと、過去助成者と企業の連携強化のために、継続的なフォローアップの充実を目指し、2019年度には以下の二つの事業を新たに実施した。



① 研究成果発表会の開催

企業の多くが関心を持っているテーマを設定し、過去助成者の研究成果の発表と

質疑応答を行い、あわせてテーマに関する最新の取組についての基調講演を実施した。

- a. 開催時期：2019年9月20日（金）
- b. 開催場所：日本財団ビル2階 大会議室
- c. テーマ：「洋上風力発電等と関連技術について」
- d. 発表者：過去研究者の中から関連研究をしている研究者3名
- e. 参加者：海洋分野に関心をもった過去助成者および企業関係者(87名)
- f. 協力先：一般社団法人 海洋産業研究会

② 一般書としての研究成果出版支援

過去研究者の研究内容を、人文・社会から自然科学など幅広い“科学”を対象として、一般の人たちに分かりやすく解説する一般科学書（新書版形式）の発行を支援した。

a. 募集対象者：

過去研究者で、直近10年の奨励賞受賞者と文部科学省・学術振興会賞等の受賞者33名

b. 応募者：14名（出版企画書の提出）

c. 選考方法：

- ・出版企画書の審査

笹川科学研究助成事業委員長を含んだ事務局と出版社編集担当(4名)にて、6点の候補を選出した。

- ・出版社の精査

候補6点から、出版社による精査を行った。

d. 審査結果：次の2点の出版を決定した。

氏名	所属・職名	タイトル	研究助成採択年度
松田 英子	東洋大学社会学部教授	夢を読み解く心理学	1998
西原 直枝	聖心女子大学文学部教育学科准教授	はたらく人の温熱環境学～より良い暮らしを支える室内環境づくり～	2001、 2003

e. 実施状況：

執筆者による書籍の原稿は2020年3月に完成した。なお、出版は2020年8月頃予定

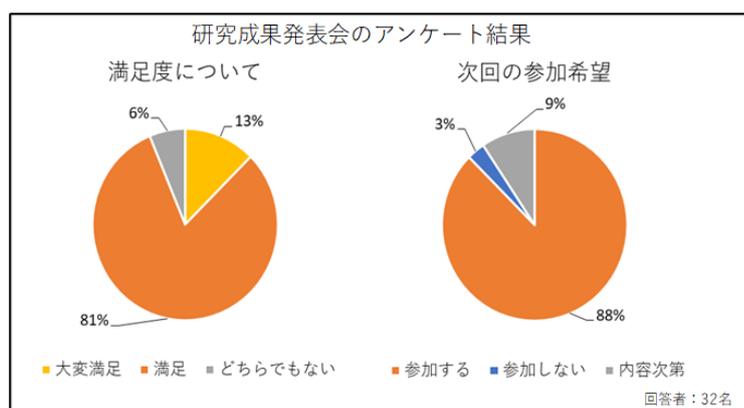
f. 協力先：株式会社 ディスカヴァー・トゥエンティワン社

(2) 事業成果等

笹川科学研究助成では、他から研究助成が受け難い若手中心の優れた研究者に助成することで、若手研究者の育成を図っている。自然科学のみならず、人文・社会学の研究も対象とし、特に基礎的な学術分野において、新規性、独創性、萌芽性のある研究を奨励し、研究への意欲を盛り上げることで、外国人留学生も含めた若手研究者の育成に貢献しているものである。実践研究では、特定分野の研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展につながることを期待できる。WEB申請を開始して3年目となり、申請者側の利便性の向上だけでなく、審査をする際の画面表示を見やすくする等の改善や、システムの運用を安定化させるためにメールサーバの強化等を行った。また昨年度の総評を、ホームページの見やすい場所に移動することで、多くの申請者が読むようになり、選考委員からは申請書の評価が行いやすくなった、申請書のレベルが上がったとの声があり、時代の流れにあった、申請方法と言えるようになったと考えている。

海外発表促進助成では、過去に研究助成を受けた研究者の研究活動を国際的に広めることを促し、その成果を社会に普及させるため、研究発表を支援するものであり、学術成果の広範な浸透及び普及の促進に貢献しているものとする。本年度は、博士課程の学生も対象とすることや、45歳未満のものを優先して採択するなどの選考基準の見直しを行って2年目になるが、その結果、キャリアの浅い研究者や学生の採択者が多くを占め、若手研究者へ重点を置いた支援につながっているものと考えられる。

研究成果発表会の開催では、参加したOB・OG並びに企業関係者からそれぞれ「非常に役に立った。また、参加したい。」という多くの声が聞かれ、OB・OGと企業関係者の双方をつなぐ事業としての効果が確認された。また、一般社団法人海洋産業研究会からは、「会員企業にとって有意義な企画で、今後も是非、共催したい」という



強い要望があった。一般書としての研究成果出版支援では、一般書を出版したいというOB・OGと出版社の双方のマッチングが実現した。出版社は、それぞれに得意分野があるので多様な研究内容をカバーするために、今後は関心のあると思われる出版社に呼びかけて本出版支援への参加を要請する。特に、(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン社からは、本会の研究助成事業を深く理解され100万円の寄附金を受けた。

2. 「日中未来共創プロジェクト」事業

【事業経費：44,641,761円（間接経費を除く）】

本事業の1)～5)については、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、6)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

(1) 内 容

1) 図書の収集・寄贈

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮するとともに各大学等の要望に応じて寄贈図書を選定後、中国の各大学・研究機関へ図書を寄贈した。

① 図書収集冊数：約75,600冊（提供件数：延べ108件）

② 図書寄贈冊数：49,288冊（寄贈大学数：53大学等）

[別表(5) 2019年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表]

2) 「笹川杯全国大学日本知識大会」の開催

中国の若者の対日理解・関心の深化、寄贈図書の活用促進、日本語教育の振興を目的に、中国の大学の日本語学習者を対象として、日本知識を日本語で競う大会を開催した。

① 開催日：2019年11月16日（予選）17日（決勝戦）

② 場 所：南京大学

③ 参加者：114大学（選手各3名/合計342名）

④ 列席者：約500名（参加者を含む）

⑤ 結果：

a. 団体戦

特等賞 1大学、一等賞 2大学、二等賞 5大学

※特等賞、一等賞受賞大学、開催大学（合計4大学）：日本招聘

但し、一等賞受賞の1大学が招聘を辞退したため、二等賞受賞の上位1大学を繰り上げて招聘。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、招聘時期を2020年度に延期して実施予定。

b. 個人戦

特等賞 1名、一等賞 2名、二等賞 3名、三等賞 2名

※特等賞、一等賞、二等賞受賞者（合計6名）：日本招聘

但し、個人戦特等賞受賞者が招聘を辞退したため、三等賞受賞の上位1名を繰り上げ招聘。招聘時期を2020年度に延期。



3) 作文コンクールの開催

① 笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール（中国語版、日本語版）

中国の若者の日本に対する関心の喚起と理解の深化、日本に関する図書の読書促進を目的として、中国全国の大学生等を対象に、日本に関する図書の感想文コンクールを中日両語で開催した。

a. 中国語版

- 共催機関：上海交通大学図書館
- 対 象：中国全国の大学生、大学院生
- 応募総数：1,397 点
- 審査結果：一等賞 5 点（日本招聘）、二等賞 10 点

※日本招聘は、2020 年度に延期実施予定。

b. 日本語版

- 共催機関：人民中国雑誌社
- 対 象：18 歳～35 歳の中国人
- 応募総数：1,763 点
- 審査結果：優勝賞 3 点（日本招聘）、二等賞 2 点、三等賞 2 点、優秀賞 10 点

※日本招聘は、2020 年度に延期実施予定。

② Panda（パンダ）杯全日本青年作文コンクール

日本の若者の対中関心の喚起と対中理解の促進を目的として、「中国」をテーマに日本語で応募の作文コンクールを開催した。

- 共催機関：人民中国雑誌社、中国大使館
- テ ー マ：「@Japan わたしと中国」
- 対 象：16 歳～35 歳の日本人
- 応募総数：513 点
- 審査結果：優秀賞 10 点、入選 10 点、佳作 35 点
- 中国訪問プログラム：

日中相互理解の深化と友好交流の促進を目的に、「コンクール」優秀賞者等に訪中の機会を提供し、現地の大学生との交流、文化体験、訪問見学、中国外文局での授賞式など広範なプログラムを実施した。

- 実施時期：2019 年 8 月 2 日～8 月 8 日（7 日間）
- 訪 問 先：北京市、西安市
- 訪 中 者：優秀賞、入選受賞者、運営実行委員学生、引率者等 26 名



4) 中国の大学生等の日本招聘プログラムの延期

「笹川杯全国大学日本知識大会」、「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」(中国語版、日本語版)、「笹川杯日本研究論文コンクール」の各成績優秀者等を対象に実施する日本招聘については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 2020 年度に延期実施予定である。

5) 「日中未来共創プロジェクト 20 周年記念誌」の発行

本プロジェクト開始から 20 周年にあたる本年度、プロジェクトの更なる発展と広範な協力獲得を図るため、これまでの軌跡、実績、反響等を取り纏めた「記念誌」の発行を計画し、編集・制作業務については、本年度内に完了した。しかし、中国側が無償実施予定の印刷業務については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で印刷、運送等の業務に遅れが生じ、2020 年度に記念誌 1,500 部が発行される予定である。

6) 「笹川杯日本研究論文コンクール」の開催

中国の大学における日本研究の促進と日本語教育の振興を目的に、日本に関する研究論文コンクールを開催するとともに、成績優秀者の日本招聘を実施する予定である。

- ① 共催機関：中国教育部大学日本語専攻教学指導分科委員会、中国日語教学研究会、吉林大学
- ② 対象：中国全国の大学の日本語専攻学生
- ③ 応募総数：262 編
- ④ 審査結果：特等賞 2 編、一等賞 3 編、二等賞 10 編、三等賞 15 編、優秀賞 35 編
- ⑤ 日本招聘者：2 名(特等賞受賞者) ※上記 4) の日本招聘プログラムと合同で 2020 年度に延期実施予定

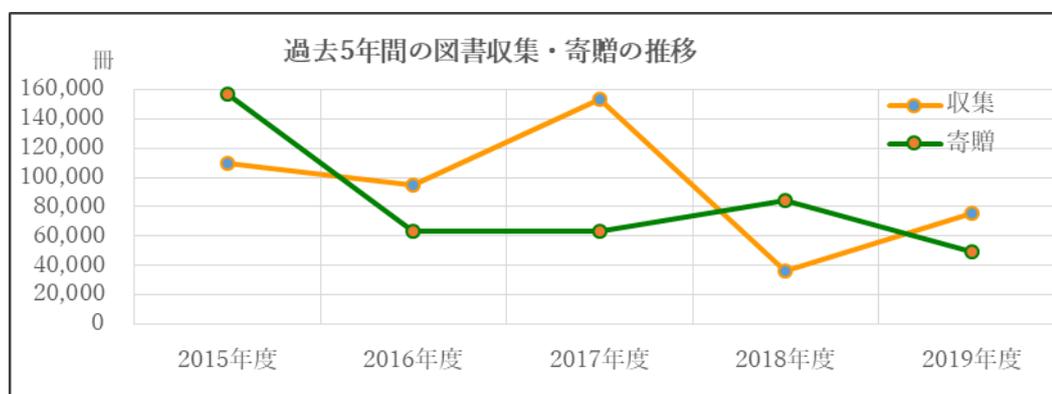


(2) 事業成果等

図書収集については、前年度の約 2 倍となる約 7.6 万冊の図書を収集することができた。これは主に公立高校の統廃合や私立大学の廃校による一括提供、出版社からの新刊図書の大口提供があったためであるが、前々年度実績に比べると約半数であり、ここ数年、収集図書の減少傾向が続いている。とは言え少子化社会にあって、公立高校等の統廃合は今後も実施される見込であり、情報収集の強化、関係機関との協力関係構築を通じて積極的な提供依頼を行うとともに、厳選による有益図書の収集に努め、寄贈図書の質と量の両面を確保していく必要がある。

また、図書寄贈については、中国における図書の内容審査の厳格化により、2016 年度以降、寄贈業務の停滞が続いていたことから、本年度は中国の審査機関責任者に面会

し本プロジェクトへの理解、協力を求めるなど積極的な依頼活動を行ってきたものの、審査の寛容化（審査所要期間の短縮、輸出 NG 図書の減少等）として十分には反映されなかったこと、新型コロナウイルス感染拡大により内容審査業務がさらに停滞したこと等により、輸出回数と輸出数量が伸び悩み、寄贈冊数は合計 50,000 冊弱と前年度実績の 6 割弱に止まった。とは言え、中国の寄贈先大学は、寄贈図書の受領にあたって中国国内経費（内容審査料、通関手数料、配送料等）として 1 冊あたり 7 元（約 109 円）を負担しているが、本年度、日本から寄贈した約 50,000 冊には約 350,000 元（5,450,000 円）の中国国内経費が発生している。この経費を各大学が受領冊数に応じて分担しているが、このことは寄贈図書に対する中国側の評価や需要の高さを裏付けるものと考えられる。



「笹川杯全国大学日本語大会」は、中国の全日本語学科設置大学（約 500 大学）の 1/5 を大きく超える 114 大学（選手 342 名）が一堂に会し、日本に関する知識や語学力を確認すると同時に大学の日本語学習者・教員が全国レベルで啓発・交流する機会でもあり、知日派の育成、日本語教育の振興に寄与するものと期待できる。

「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版、日本語版）は、中国初の日本関係図書の読書感想文コンクールであるが、日本語学習の有無に関わらず広範な若者の日本に対する関心喚起、理解促進の契機になっていると期待できる。

「Panda 杯全日本青年作文コンクール」については、過去 5 年間、日程的な理由で訪中プログラムを PM2.5 の深刻な時期に実施せざるを得ず、全体的なスケジュールの改善が懸案事項となっていた。そこで本年度は、募集期間の短縮と訪中プログラムの前倒しを実験的に実施した。訪中プログラムについては、安全な環境の下、大学授業等に影響を及ぼさない夏季休暇中の実施となり、参加者、関係者からの評価を得た。しかし、募集期間については、約 1/3 に短縮したところ、募集活動が広く認知される前に締切り間近となり期間延長を行った。結果的に応募数は前年度の 8 割程度に止まったが、適当な募集期間を検討するうえで有益な参考データとなった。

また本コンクール受賞者 OB が、Panda 杯訪中プログラムの経験等を綴り習近平主席に送った手紙に対して、2019年6月、習主席より日中若者の交流活動等を支持する旨の返信が届いたが、このことは、本コンクールに対する中国の国レベルの承認獲得のみならず図書寄贈、日本知識大会、作文コンクール、研究論文コンクールなど他事業への社会的理解の深化にも繋がるものであると期待できる。



「笹川杯日本研究論文コンクール」は、日本に関する研究論文の執筆と研究発表の両面を審査する中国初の研究論文コンクールであるが、日本語の実践力、専門研究能力、国際性を備えた日本語人材の育成を目指す中国の日本語教育の新方針を支援するものとして、大学の日本語教育界から評価されている。また、一次審査通過者を対象に実施する決勝戦の様子が人民網を通じて広範に配信されているが、この動画は、中国全国の大学の日本語学部の学生・教師にとって、研究論文のプレゼンテーションや質疑応答を実践するモデルケースとなるものであり、日本語教育の発展に繋がるものと期待できる。

2019年9月、本会は、本プロジェクトの長年に亘る多様な日中交流事業を通じた国際理解、国際協力への貢献が評価され、「中国外文局優秀パートナー賞」を受賞した。

本プロジェクトは、広範な機関や個人に対し CSR の一環としてプロジェクトへの支援を依頼してきたが、国際貢献の観点から日本では1個人より500,000円の寄附金提供、出版社17社から新刊図書約17,200冊（定価総額約17,070,000円）の提供を受けたほか、中国では1企業から「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版）の開催経費の一部[20,000元（310,000円/1元＝15.5円換算）]を協賛金として分担いただいた。また、「笹川杯全国大学日本知識大会」に関しても、中国の1出版社から本年度の大会パンフレット550部[7,100元（約110,000円）]、また2企業から大会用トートバッグ850個[20,400元（約320,000円）]をそれぞれ無償提供いただくなどの協力を得た。



3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：19,900,815円（間接経費を除く）】

本事業の1)～3)については、モーターボート競走法制定40周年記念事業として、4)5)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

(1) 内 容

1) 科学実験データベースの公開

広く世界で活用されている伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで様々な科学実験事例を収集網羅し、これに実験内容や方法のほか、分野、対象年齢、難易度などの検索項目を設けたデータベースをWebサイト上で広く公開した。また、実験教室等に参加する機会が少ない子供たちのために、分解すると宅配便で配送できる暗室を作成し、光の実験と講義を行うという新規事業を立案し試行を行った。

① 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会

② 公開内容

Webサイト上で、原体験コラム267点、科学実験データベース706点を公開

a. 新規データの追加：

原体験コラムに24点、科学実験データベースに24点を追加した。

b. 動画の追加：

分かりやすく安全に実験を行えるように、動画を追加した。

c. ホームページリニューアル：

検索しやすくするためデザインを変更し、おすすめ科学実験のコーナーを作成した。

d. 新規事業の立案と、試作および事業の試行：

宅配便で配送できる暗室を作成し、ウィンタースクールにて光の実験と講義の試行を行った。



2) 地球科学の理解促進

本会で制作した短編映像「Cubic Earth—もしも地球が立方体だったら—」を題材とした気象に関する科学体験講座を開催し、地球科学の理解促進に努めた。

① 名 称：「大気・雲・雨のふしぎ—身近な天気サイエンス—」

② 開催日：2019年7月31日、8月1日

③ 参加者：小中学生約80名（保護者含む）

④ 講 師：名越利幸氏（岩手大学教育学部理科教育科教授）

⑤ 場 所：日本科学未来館

3) 中高生のためのサイエンスメンタープログラム

科学好きな中高生の課題研究に対し、その分野の専門家等から学校教育の枠にとらわれない研究指導を行った。

- ① 件数：29件（14件は2019年8月まで、3件は2020年3月までで終了。12件は2020年度に終了予定。）
- ② 指導方法：メールを主とし、必要に応じて実地指導や電話・ビデオ対話等で指導を行う。
- ③ 期間：2019年4月～2020年3月
- ④ サイエンスメンタープログラム研究発表会：
 - a. 開催日：2019年8月10日
 - b. 場所：多摩永山情報教育センター
 - c. 内容：14名が研究発表を行った。
 - d. その他：2020年3月に開催予定の研究発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止した。

[別表(6) 2019年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表]

4) 生命科学テキスト「人間の生命科学」プロジェクト

生命科学に関する基礎知識を授けるため、従来の教科書とは異なる発想で「生物としての人間」を軸にした生命科学の副読本を制作した。

2019年度は、前年度の教育現場（大学、専門学校、高校）でのトライアル授業の評価をもとに授業での利用を促進する普及活動や利便性の向上を図る活動を行った。



- ① テキストの利用普及 PR 活動：

テキストの利用促進をはかるため、昨年度利用者への継続利用のプロモート、東京都高等学校生物学教員研究会員へのチラシ配布（2019年5月31日実施、550枚配布）等を実施した。
- ② 授業の事例映像の記録および PR：

テキストが実際にどのように活用されているかを知るために、実践女子大学（山崎壮教授）、山形県立小国高校（佐藤崇之教諭）のご協力を得て授業を取材、テキスト活用事例の映像を制作した。
- ③ テキスト問題集作成

テキスト Web 版は、学生・生徒の宿題や自由研究で自ら調べる教材として教育効果を期待できることから、学習振り返りのための問題集の作成に着手した。

(2020 年 5 月完了予定)

④ 執筆者による第 2 次改訂：

テキスト執筆開始時より 4 年目を迎えたが、この間生命科学に関する学術的知見・医療などの技術革新・社会的価値観の新しい変化が起きつつあることを鑑み、各章執筆者による加筆、改訂に着手した。(2020 年 5 月完了予定)

5) 科学隣接領域の研究

自然科学の枠を超えた領域の専門家が集まり、宗教、倫理、芸術を切り口に科学研究や研究者について議論と考察を重ね、若手研究者の育成について討議したアウトプットとして、セミナー・出版などを通して、研究者自身の専門分野の研究のみならず、総合的な視野を持った「創造的な研究者」への育成を目指した。2019 年度は、「科学と倫理」に関するセミナーと、「科学と倫理」「科学と芸術(※)」に関する研究会を開催した。

※2019 年度事業計画では、「科学とアート」としていたが、研究会内で「芸術」のほうが相応しいとの意見があり変更した。



① 研究会の開催

a. テーマ：「科学と倫理」

- 開催回数：2 回 (2019 年 4 月 4 日、5 月 14 日)
- 内 容：「科学と倫理」に関する講義とセミナー企画会議
- 参 加 者：特別講師 野家啓一先生 (東北大学名誉教授)、研究会メンバー

b. テーマ：「科学と芸術」

- 開催回数：2 回 (2019 年 11 月 7 日、2020 年 1 月 28 日)
- 内 容：「科学と芸術」に関する講義
- 参 加 者：特別講師 岡田憲久先生 (名古屋造形大学特任教授・景観設計室タブラ・ラサ主宰)、研究会メンバー

② セミナーの開催

a. セミナー名：「未来をひらく 科学と倫理」

b. 開催日時：2019 年 10 月 26 日 (土) 13:00~17:00

c. 場 所：日本財団ビル 2 階大会議室

d. 参 加 者：88 名 (研究者、学生、その他社会人等)

e. 協賛・後援：

日本天文学会、日本機械学会、人工知能学会、科学技術社会論学会、日本公益学会、宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、日本生命倫理学会

(2) 事業成果等

「科学実験データベースの公開」では、動画への反響が特に大きく、「ダイス・スタッキングに挑戦しよう」の動画が、テレビで使用された。また、材料の購入方法についての問い合わせがあるなど、データベースを利用して実験を行っている方が増えてきている。今年度は、ホームページをリニューアルし、「おすすめの科学実験」のコーナーを作成することで、季節ごとの実験等の検索を行いやすくし、改善を行った。新規事業として、分解すると宅配便で配送できる暗室を用いた光の実験教室は非常に好評であり、運搬性も良く、離島や交通の便が悪い場所での実験教室を開催することで、今まで科学に触れることのできなかつた子供たちに科学の楽しさを伝えることができ、今後の事業の発展を期待できる結果となった。



「地球科学の理解促進」では、本会が作成した「立方体地球-もしも地球が立方体だったら-」を使った科学体験講座を行い、小中学生へ地球科学に対する興味関心を喚起するきっかけとなった。なお、昨年度は年1回の開催であったが、好評だったため、年2回で開催し、より多くの小中学生に参加していただくことができた。

「中高生のためのサイエンスメンタープログラム」では、高校生が普段では会えないような大学の先生等にメンターとなってもらうことで、その後の進路等に影響を与えるとともに、本事業のOBがISEFの日本代表に選出される等、その後の研究活動にも大きな影響を与えている。なお、本年度から、より科学への興味関心が高い高校生等を発掘するために、従来の年1回の募集から通年募集へ切り替え、より応募の門戸を広げていく。

「生命科学テキスト『人間の生命科学』プロジェクト」では、昨年度までトライアルとして、高校・大学の授業・講義で本テキストを利用していたが、本年度よりWebサイトによる申し込み・ユーザー登録等を行う本格的な運用を開始した(今年度の登録数40件、学生登録数357件)。また、引き続き生命科学のリテラシーを向上させるため、生命科学テキストに準拠した問題集の作成や、新しい知見を盛り込んだテキストの改訂を行うと同時に、より一般へ生命科学を伝えるための手法について検討していく。

「科学隣接領域の研究」事業で開催したセミナー「未来をひらく 科学と倫理」では、研究会で議論してきた「科学者三原則」を発表し、科学者の倫理について講演者・参加者と共に考えることができた。アンケート（67件/88件回収）の結果、セミナー内容について90%の方に「とてもよかった」「良かった」とご回答いただいた。

また、セミナーで取り上げた「生命科学」・「A I」・「宇宙」分野に関連する7つの学会等が、協賛・後援団体としてご協力くださった。研究者の参加は24名であったが、その他43名は、過去の研究者や研究者と関わる方々であり、「研究者と研究者を取り巻く方々」に多数ご参加いただくことができた。

2020年度は、「科学と倫理」については、上記セミナーでの内容を中心に、出版を通してさらに多くの方に問題提起していきたい。「科学と芸術」については、新型コロナウイルス感染症の影響で、2・3月の研究会は開催延期となったが、研究者の創造力の啓発につながる、セミナーを企画していきたい。

第3 会議等

(1) 理事会

1) 第23回理事会

① 開催年月日：2019年5月24日

② 議事事項と会議の結果：

a. 第1号議案 2018年度事業報告及び決算報告書の承認に関する件
全会一致で承認

b. 第2号議案 第9回評議員会の開催に関する件
全会一致で可決

2) 第24回理事会（一般法人法第96条に基づく決議の省略）

① 決議があったものとみなされた日：

2019年6月14日

② 理事会の決議があったとみなされた事項の内容：

a. 第1号議案 公益目的事業の内容の変更に関する件

b. 第2号議案 第9回評議員会の開催に関する件（※日時の変更）

3) 第25回理事会（一般法人法第96条に基づく決議の省略）

① 決議があったものとみなされた日：

2020年3月18日

② 理事会の決議があったとみなされた事項の内容：

a. 第1号議案 2020年度事業計画及び収支予算の承認に関する件

b. 第2号議案 評議員選定委員会の外部委員の選任に関する件

c. 第3号議案 顧問の選任に関する件

d. 第4号議案 商議員の選任に関する件

なお、役員の名簿については〔別表（7）役員名簿〕のとおり。

(2) 評議員会

1) 第9回評議員会

① 開催年月日：2019年6月23日

② 議事事項と会議の結果：

a. 第1号議案 2018年度決算報告書の承認に関する件
全会一致で承認

b. 第2号議案 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程の一部改正に関する件
全会一致で可決

なお、評議員の名簿については [別表(8) 評議員名簿] のとおり。

(3) 各種委員会

1) 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議事事項
(第 68 回) 2019 年 7 月 12 日	2020 年度笹川科学研究助成の公募について
(第 69 回) 2019 年 11 月 6 日	2020 年度笹川科学研究助成の選考方針の策定
(第 70 回) 2020 年 2 月 17 日	1 2020 年度笹川科学研究助成の選考結果について 2 2020 年度海外発表促進助成の募集について

2) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領 域	開催年月日	議 事 事 項
数物・工学系	2019 年 11 月 21 日	2020 年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について
化学系	2019 年 12 月 2 日	
生物 (A) 系	2019 年 11 月 26 日	
生物 (B) 系	2019 年 11 月 25 日	
複合系	2019 年 11 月 22 日	
海洋関連研究	2019 年 12 月 3 日	
実践系	2019 年 12 月 4 日	
人文・社会系	2020 年 1 月 21 日	2020 年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について
実践系	2020 年 1 月 14 日	
人文・社会系	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン上にて開催 (2020 年 3 月)	2019 年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について
数物・工学系		
化学系		
生物 (A) 系		
生物 (B) 系		
複合系		
海洋関連研究		
実践系		

3) サイエンスメンター事業委員会

開催年月日	議事事項
(第 7 回) 2019 年 12 月 20 日	2020 年度サイエンスメンタープログラムの募集及び選考について

第4 その他の重要事項

(1) 内閣府

年月日	内 容
2019年6月26日	理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準の変更の届出を行った。
2019年6月28日	2018年度における事業報告等の提出を行った。
2019年7月2日	公益目的事業の種類又は内容の変更に係る変更認定申請を行った。(認定日:2019年11月27日)
2020年2月21日	運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査が実施された。
2020年3月31日	2020年度における事業計画書等の提出を行った。

(2) 日本財団

年月日	内 容
2019年4月1日	日本財団と2019年度事業について助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流(公益) ・科学振興のための研究助成と研究交流(海洋) ・日中未来共創プロジェクト(公益) ・日中未来共創プロジェクト(海洋) ・基盤整備(公益) ・基盤整備(海洋)
2019年5月10日	2018年度笹川科学活性化基金に係る報告を行った。
2019年10月28日	2020年度事業実施のため、日本財団への助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流(海洋) ・科学振興のための研究助成と研究交流(公益) ・日中未来共創プロジェクト(海洋) ・日中未来共創プロジェクト(公益) ・基盤整備(海洋) ・基盤整備(公益)
2020年2月14日・19日	日本財団監査グループによる2018年度助成事業の監査が行われた。
2020年3月19日	2020年度における笹川科学活性化基金の一部取崩しの承認申請を行った。

(3) その他

年月日	内 容
2019年11月22日	独立行政法人国立青少年教育振興機構「2020年度子どもゆめ基金」に次のイベントの助成申請をした。 ・身近な天気サイエンス実験体験 -空気・雲・雨のふしぎ- ・離島で行うサイエンスキャンプ ・科学研究体験ワークショップ

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
1	人文・社会	梶島 雅弘	大阪大学大学院文学研究科文化形態論中国哲学	招へい研究員	唐代西域における兵学と占術—中・仏の敦煌文献を活用して	450,000
2	人文・社会	隋 藝	学習院女子大学	非常勤講師	中国東北における「三反」「五反」運動と基層民衆—心性史の視点による分析—	550,000
3	人文・社会	川口 航史	東京大学大学院法学政治学研究科	特任研究員	日本農業者の組織化:戦前戦後の継続性と国際比較	600,000
4	人文・社会	平 将志	新潟大学大学院現代社会文化研究科	博士研究員	生活保護制度における「逆福祉システム」の起源と展開—福岡県北九州市を事例として	400,000
5	人文・社会	単 艾テイ	九州大学	非常勤講師	日本人中国語学習者の作文及びスピーチの構造分析:—作文・スピーチ指導法構築に向けて—	500,000
6	人文・社会	中澤 芽衣	高崎経済大学地域政策学部	助教	現代アフリカ農村における都市居住者による土地収奪と経済格差の拡大	650,000
7	人文・社会	長崎 健吾	東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻日本史学	博士課程6年	戦国期京都における都市市民の社会的結合に関する研究—法華宗信徒の事例を軸に—	180,000
8	人文・社会	ハス高娃	神戸大学大学院国際文化学研究科	博士後期課程3年	カトリック教会聖母聖心会の宣教師による清末期の内モンゴル・オールドス地域での土地購入問題	541,332
9	人文・社会	松原 加奈	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	博士課程4年	アフリカの製造業における労働者の技能とキャリアの形成—エチオピアの革靴製造業に着目して—	550,000
10	人文・社会	金崎 由布子	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻考古学専門分野	博士課程2年	アンデス文明形成期後期から末期の地域動態:ペルーワスコ盆地ピチャイコ遺跡の考古学調査を中心として	650,000
11	人文・社会	菊池 美幸	九州大学大学院経済学府経済システム専攻	博士課程3年	近代日本における産業衛生の導入に関する比較的研究—日英石炭産業の疾病対策に焦点を当てて—	700,000
12	人文・社会	松岡 由佳	奈良女子大学大学院人間文化研究科社会生活環境学専攻	博士後期課程3年	障がい者支援活動の「ローカル」な展開—共同作業所づくり運動に着目して—	550,000
13	人文・社会	AKBARI HOURIEH	白百合女子大学文学部国語国文学科	非常勤講師	在日ベルシア語母語話者の日本語使用問題の解明—自然会話とライフストーリー調査から	473,144
14	人文・社会	吉村 竜	首都大学東京大学院人文科学研究科社会人類学教室	博士後期課程3年	ブラジル南東部の日系果物農家の「農の実践」をめぐる社会人類学的研究	400,000
15	人文・社会	解 放	東京外国語大学大学院総合国際学研究科	博士後期課程4年	「抑圧」と「自己検閲」の1960年代—引揚げ文学を通して	110,000
16	人文・社会	宮川 慎司	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻	博士課程4年	貧困層のインフォーマルな活動の減少過程に関する政治経済学—マニラ首都圏における「盗電」を事例に—	446,213
17	人文・社会	綿貫 竜史	名古屋大学大学院国際開発研究科	博士後期課程1年	バングラデシュ都市貧困世帯における家計の問題に関する研究	400,000
18	人文・社会	吉田 愛梨	首都大学大学院東京人文科学研究科社会行動学専攻	博士後期課程2年	生活の互助システムに見る地域社会の共同性と地方自治のあり方の構造把握	650,000
19	人文・社会	大野 絢也	一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻	博士後期課程5年	日中戦争期の中国における交通建設と地域社会の変容—粵漢鉄道を中心として—	700,000
20	人文・社会	中村 真菜美	大阪大学大学院文学研究科	招へい研究員	江戸後期の画家における“知”の蓄積と実践の解明—谷文晁による縮図帖に着目して—	400,000
21	人文・社会	押尾 高志	千葉大学大学院社会科学研究院	博士後期課程3年	近世西地中海地域における改宗の諸相:モリスコ由来のアラビア語写本とアルハミニア写本の分析	800,000
22	人文・社会	井上 裕香子	九州大学持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム	特任助教	相手選択場面における、協力的傾向と信頼性判断傾向の共進化の検討	219,091
23	人文・社会	林 昉	京都大学大学院文学研究科歴史文化専攻	博士後期課程3年	日中台の冷戦関係における1956年梅蘭芳訪日公演に関する政治史的研究	550,000
24	人文・社会	井上 恭平	総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻	博士後期課程3年	先史アマゾニア、モホス平原における社会動態の考古学的研究—人口丘ロマの形成過程と空間利用の変遷—	700,000
25	人文・社会	川口 博子	京都大学アフリカ地域研究資料センター	特任研究員	移行期正義における地域住民の主体性と法規範の伝達に関する地域研究—国際刑事裁判所の現地活動を事例に—	900,000
26	人文・社会	木下 実紀	大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻	博士後期課程1年	イラン近代における社会批判精神の表出—知識人による西欧文学の翻訳行為から—	550,000
27	人文・社会	岩永 玲	京都大学大学院文学研究科	博士後期課程3年	北海を介したブリテン諸島と北欧地域の交流とその影響—カンブリア地方の初期中世装飾石彫から考える—	513,075
28	人文・社会	齊藤 豪大	久留米大学経済学部経済学科	専任講師	18世紀スウェーデンにおける北極圏での捕鯨政策構想と展開:政府・商人・科学アカデミーの関係に注目して	840,000
29	人文・社会	村田 光司	名古屋大学高等研究院	特任助教	亡命期ビザンツ帝国(1204-1261年)における海軍組織の研究	570,000

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
30	人文・社会	安藤 さやか	東京藝術大学美術学部芸術学科	教育研究助手	西欧初期中世美術のファウナ:8~9世紀フランク王国写本に於ける海洋生物の図像分析	830,000
31	人文・社会	朱 紅軍	関西大学大学院東アジア文化研究科	博士後期課程2年	九世紀東アジア海域における航海神信仰の基礎的研究—『入唐求法巡礼行記』を中心に—	690,000
32	人文・社会	櫻庭 陽子	京都市動物園生き物・学び・研究センター	研究推進嘱託員	身体障害に対するチンパンジーとヒトの社会的態度の違いに関する研究	720,000
33	人文・社会	鄭 曉麗	東京藝術大学大学院音楽研究科音楽専攻	博士後期課程2年	日本占領下北京における西洋音楽の音楽活動に関する実証研究	330,000
34	数物・工学	河野 直樹	秋田大学理工学研究科物質科学専攻	特任講師	量子閉じ込め効果を受けた励起子を利用した高速応答シンチレータの開発	600,000
35	数物・工学	飯田 佑輔	新潟大学	准教授	画像認識と深層学習を用いた太陽X線画像ビッグデータからのコロナ質量放出予測モデルの構築	700,000
36	数物・工学	東 陽一	産業技術総合研究所エレクトロニクス製造領域電子光技術研究部門	特別研究員	超伝導薄膜加速空洞共振器の高性能化へ向けた非線形電磁応答の微視的理論研究	490,000
37	数物・工学	上坂 優一	埼玉大学理工学研究科	研究支援者	ミュオン原子を用いたレプトンフレーバーを破る低質量粒子探索	500,000
38	数物・工学	新屋 ひかり	東北大学電気通信研究所	助教	データ駆動型マテリアルズデザインによる高温強磁性半導体の一般化有効モデルの構築	440,000
39	数物・工学	佐藤 靖徳	長岡技術科学大学大学院工学研究科技術科学イノベーション専攻	博士後期課程2年	コロイド溶液の降伏挙動を含む流動特性の解明	493,760
40	数物・工学	西田 優樹	同志社大学大学院理工学研究科数理環境科学専攻	博士後期課程2年	Max-Plus代数における行列の固有値および固有ベクトルの類似物の構成	480,000
41	数物・工学	中島 義基	筑波大学大学院数理工学物質科学研究科電子・物理工学専攻	博士前期課程2年	フレキシブル全固体薄膜二次電池の創製を目指した革新負極技術の開発	800,000
42	数物・工学	宮島 光希	横浜国立大学大学院都市イノベーション学府建築都市文化専攻	博士前期課程2年	保育室内の揮発性有機化合物を中心とした空気汚染物質の実態調査とその改善のための運用ガイドラインの検討	580,000
43	数物・工学	西村 晟八	東京大学大学院理学部地球惑星科学専攻	修士課程1年	飛翔体に搭載可能な真空ポンプの開発	690,000
44	数物・工学	鈴木 慎	富山大学大学院理工学教育部新エネルギー科学専攻	博士課程1年	ゲージ・ヒッグス統一モデルにおけるヒッグス結合に関する理論的研究	450,000
45	数物・工学	飯浜 賢志	東北大学材料科学高等研究所	助教	原子の磁気モーメントのダイナミクスを利用した超高速磁化反転に関する研究	700,000
46	数物・工学	長谷川 クルミ	国際基督教大学大学院アーツサイエンス学科理学専攻	修士課程2年	モードホップフリーなレンズ操作式外部共振型半導体レーザーの開発とビート周波数の発生	700,000
47	数物・工学	小林 大	九州大学理学研究院物理学部門	特任助教	有機半導体の粒子検出器への応用可能性の探索	800,000
48	数物・工学	上田 和茂	広島大学大学院理学研究科物理学研究科物理学専攻	修士課程2年	曲がった時空におけるディラック場の量子エンタングルメントによる粒子生成と量子放射の研究	500,000
49	数物・工学	Purev Uelun Ujin	九州大学大学院総合理工学府環境エネルギー工学専攻	博士課程2年	ウランバートル市の都市定住者のゲルの断熱性能改善に関する研究	800,000
50	数物・工学	横井 滉平	大阪大学大学院理学研究科物理学専攻	博士後期課程1年	空間反転対称性の破れたバルク単結晶における超伝導状態とトポロジカル物性の研究	600,000
51	数物・工学	米澤 隆宏	北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科	博士後期課程3年	界面状態の理解に基づく半導体/絶縁体基板上へのシリセン成長と物性・形成機構の解明	670,000
52	数物・工学	奥井 恒	新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻素粒子論研究室	博士後期課程2年	原始重力波で探る素粒子右巻きニュートリノ	500,000
53	数物・工学	平口 敦基	高知大学大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻	博士課程2年	QCD モノポールによるクォーク閉じ込め機構とそのゲージ配位依存性について	300,000
54	数物・工学	酒井 淳	東京農工大学大学院工学府電子情報工学専攻	博士後期課程3年	閉じ込めにより構造転移したゼラチンミクロゲルの分子構造と粘弾性特性の相関解明	600,000
55	数物・工学	加藤 凌	茨城大学大学院理工学研究科理学専攻	博士前期課程2年	SOI半導体検出器を用いた究極の宇宙ガンマ線用電子飛跡検出型コンプトンカメラの開発	616,383
56	数物・工学	榎本 一輝	大阪大学大学院理学研究科物理学専攻	博士後期課程1年	ヒッグス粒子のレプトンフレーバーを破る崩壊と、ニュートリノ質量と宇宙物理の諸問題を解く新モデル	500,000
57	数物・工学	塩沢 健太	北里大学大学院理学研究科分子科学専攻	博士後期課程2年	マイクロ領域を探索する新規な幾何学によるブラックホール内部構造の解明	500,000
58	数物・工学	石黒 菜摘	金沢大学大学院自然科学研究科数物科学専攻	博士前期課程2年	後進波発振・進行波増幅を連結した100 GHz帯電子管の原理検証による高出力定常テラヘルツ光源の開発	720,000
59	数物・工学	上杉 薫	大阪大学工学研究科機械工学専攻	特任助教	ソフトロボット, 及びバイオアクチュエータの開発に向けた細胞搭載型メカノバイオロジカルセンサ	800,000

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
60	数物・工学	岡部 晋之介	東海大学大学院工学研究科電気電子専攻	修士課程2年	森林内の安全な道の検出による林業支援	350,000
61	数物・工学	Shen yigang	大阪大学大学院生命機能研究科	博士後期課程2年	マイクロ流体デバイスを用いた潤滑オイルの金属粒子のリアルタイム検出と分析システムの開発	800,000
62	数物・工学	亀山 昂平	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士前期課程2年	台風条件下における大気海洋境界層の動態とその影響の解明	332,508
63	数物・工学	桑田 祐丞	大阪府立大学工学研究科機械系	助教	船底の粗面に生じる摩擦抵抗の革新的予測法の確立に向けた実験的研究	870,000
64	数物・工学	塩満 大祐	九州大学大学院工学府海洋システム工学専攻	博士後期課程2年	外圧を受けるリング補強円筒殻の高精度な座屈強度推定式の開発	798,823
65	数物・工学	李 僑	東京大学生産技術研究所	特任研究員	四胴ロボット船の運航性能と定点保持に関する研究	730,000
66	数物・工学	張 若瀾	神戸大学大学院海事科学研究科	博士後期課程2年	敵対的生成ネットワーク(GAN)を用いた自律船衝突回避のための船舶航行シーンデータ生成に関する研究	830,000
67	数物・工学	久保田 達矢	防災科学技術研究所	特別研究員	沖合海底圧力計アレイ解析に基づく微小海洋変動シグナルの検出	770,000
68	数物・工学	安井 智美	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	修士課程1年	海洋短波レーダーを用いた津軽暖流の解析的研究	660,000
69	数物・工学	福澤 克俊	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士課程3年	九州西方沿岸域における気象津波発生機構の解明-予測システムの構築に向けて-	760,000
70	数物・工学	北村 佳博	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	博士前期課程2年	外洋性さめ類の生態調査用浮延縄漁具における中立ブイ・システムの導入と敷設動態の解明	700,000
71	数物・工学	劉 一辰	豊橋技術科学大学建築・都市システム学系	助教	中国天津における旧租界地区の歴史的建造物の保全実態に関する研究	470,000
72	数物・工学	楠川 充敏	名古屋市立大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻	博士後期課程3年	アクティビティと開放性による大学図書館の多仕様型学習環境の構成に関する研究	215,724
73	数物・工学	Erasmus Shaanika	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程3年	高温超電導回転機の磁束安定性の研究	470,000
74	化学	胡 凱龍	筑波大学大学院数理物質科学研究科電子物理工学専攻	博士後期課程3年	酸性水溶液中で溶けないグラフェンで保護された卑金属ナノ粒子触媒の触媒メカニズムの解明	870,000
75	化学	永島 佑貴	東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻	博士後期課程3年	光を活用したマルチホウ素化法の開発-高度にホウ素化された有機化合物の合成と新機能創出-	880,000
76	化学	西村 真之介	東京農工大学大学院工学府応用化学専攻有機材料化学専修	博士後期課程2年	経肺投与 DDS への応用を目指した「一段階乳化」による低密度多孔質微粒子の開発	590,000
77	化学	中島 誠也	千葉大学大学院薬学研究院	助教	可視光をエネルギー源とする超原子価ヨウ素化合物の創成	870,000
78	化学	矢崎 晃平	山梨大学大学院総合研究部山梨大学大学院総合研究部	助教	2つのナノ空間を利用したキラル伝達と不斉反応	870,000
79	化学	石垣 侑祐	北海道大学理学研究院化学部門	助教	世界最長の炭素-炭素単結合に基づく新規応答機能の発現	500,000
80	化学	関 千里	千葉工業大学大学院工学研究科生命環境科学専攻	修士課程1年	ナフタレンを基本骨格とする反芳香族化合物の合成及び物性評価	0
81	化学	橋本 悠	京都大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程1年	糖類の位置選択的なシリル化反応および天然物合成への応用	560,000
82	化学	塚田 学	千葉大学大学院工学研究院	助教	テンプレートを用いた多孔性ポリシルセスキオキサン膜調製法の開発および細孔経と熱伝導率の関係性の解明	700,000
83	化学	原 伸行	近畿大学大学院総合理工学研究科物質系工学専攻	博士後期課程2年	円偏光発光(CPL)を発する光学活性有機LED(CP-OLEDs)の開発	640,000
84	化学	久保 満優	東京工業大学大学院物質理工学院応用化学系原子核工学コース	修士課程2年	放射性廃棄物ガラス固化体模擬ガラスの予期せぬ溶出挙動に対する錯体化学的理解	550,294
85	化学	西澤 佑一朗	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻	博士課程1年	ナノ構造を制御した新規複合ハイドロゲル微粒子の創製と革新的分離材料への応用	680,000
86	化学	稲田 壮峰	九州大学大学院理学府化学専攻	博士後期課程3年	膜タンパク質-脂質相互作用への評価を促進する分析プラットフォームの創成:脂質の生命機能解明を目指して	470,000
87	化学	山本 美月	山梨大学大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻バイオサイエンスコース	修士課程2年	高脂血症治療薬の開発を目指した新規 PCSK9 結合環状ペプチド化合物の分子進化工学的スクリーニング探索	700,000
88	化学	香門 悠里	大阪大学大学院理学研究科	助教	多彩な機能的官能基の自在な配列制御を可能とする合理的な高分子設計・合成法の開発	700,000

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
89	化学	小山 亮祐	日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源利用科学専攻	博士後期課程3年	がん幹細胞を標的とした抗がん戦略の開発:糖鎖を介した細胞間コミュニケーション阻害剤の合成と評価	880,000
90	化学	大石 雄基	富山大学大学院医学薬学研究部	助教	難溶性化合物を水中へと可溶化させる“らせん型ミセル”の創製	600,000
91	化学	林 莉緒菜	佐賀大学大学院工学系研究科循環物質化学専攻	博士前期課程2年	酸化グラフェンとセルロースナノファイバー複合材料の形態制御	440,000
92	化学	坪ノ内 優太	新潟大学工学部	特任助教	光合成の酸素発生中心を模倣したヘテロメタル分子触媒の開発	700,000
93	化学	北村 貴士	慶應義塾大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻	博士後期課程1年	ネオカルチノスタチン・クロモフォアの芳香環部位をモチーフにした OFF-ON 型光感受性分子の創製	740,000
94	化学	阪 一穂	岐阜薬科大学大学院薬学部薬学研究科薬学専攻	博士課程1年	異種金属協調触媒系による2-プロパノールを水素源とした還元反応の開発	600,000
95	化学	庄司 淳	北海道大学大学院工学研究院	PD	クロロフィル集積体のナノ構造に関する研究	700,000
96	化学	松尾 洋孝	北里大学北里生命科学研究所	特任助教	硫黄選択的酸化反応および質量分析計を用いた微生物由来新規含硫黄物質の探索	870,000
97	化学	小椋 千尋	東邦大学大学院理学研究科化学専攻	博士前期課程2年	白亜紀末の天体衝突後の海洋環境と元素循環の復活過程:ユカタン半島沖の爆心地の堆積物から探る	555,164
98	化学	金城 盛人	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程2年	タンDEM触媒系を用いた海水中における二酸化炭素の水素化反応の実現	572,014
99	化学	木野村 月南	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻	修士課程2年	一般性のあるエステル合成法としてのオキシカルボニル化反応の開発	596,840
100	化学	秋吉 亮平	熊本大学大学院自然科学教育部理学専攻	博士後期課程2年	ソフトマテリアル型金属錯体を基盤とした強誘電性液晶材料の創製	600,000
101	化学	桜井 優香	東京理科大学大学院理工学部先端化学科	博士後期課程2年	カルボン酸誘導体を利用した炭素-水素結合官能基化を経る多置換芳香族化合物の合成	640,000
102	化学	Azzah Dyah Pramata	熊本大学大学院自然科学研究	博士後期課程3年	ペロブスカイト型量子ドットとレドックスクラスターを用いた光エネルギー貯蔵	860,000
103	化学	熊谷 啓	東北大学多元物質科学研究所新機能無機物質探索研究センター	助教	光電気化学を駆使した金属錯体-半導体ハイブリッド光触媒の設計と可視光二酸化炭素還元への応用	670,000
104	化学	浦田 沙梨	北里大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程3年	硫酸化糖脂質の機能解明を志向した二大硫酸化糖脂質とその類縁体の網羅的全合成	750,000
105	化学	山崎 康臣	成蹊大学理工学部物質生命理工学科	助教	Z スキーム型電子移動を用いた長波光応答型光増感錯体の創製	590,000
106	化学	鄭 臨潔	京都大学化学研究所水圏環境解析化学研究部門	助教	南北太平洋における Al, Mn, Fe, Co, Ni, Cu, Zn, Cd, Pb の断面分布診断	770,000
107	化学	藤沼 修平	筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻	博士前期課程2年	環境中 237Np 測定法開発と海洋研究への応用	58,914
108	化学	西村 日向子	富山大学大学院理工学教育部生物圏環境科学専攻	修士課程1年	淡水・海水魚の微量元素・鉛同位体比の特徴:回遊履歴を推定する手法の確立	650,000
109	化学	森井 一樹	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士前期課程2年	全置換ビロールであるラメラリン類の簡便な合成法の開発	770,000
110	化学	澁谷 有信	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士前期課程2年	側鎖置換基の位置規則性を制御したポリ(パラフェニレン)の合成によるらせん構造の誘起	720,000
111	化学	林 宏暢	奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学領域	助教	硬くて柔らかい分子系の構築と有機薄膜トランジスタへの応用	720,000
112	化学	松尾 一樹	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程1年	革新的な不斉反応場を創生する新奇有機光触媒の開発	720,000
113	生物	小野 晶子	宇都宮大学大学院農学研究科	修士課程2年	冬虫夏草サナギタケ由来レクチンの機能解析	650,000
114	生物	Emil Salim	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻	博士課程2年	力学的刺激によって誘導される非感染時の自然免疫応答メカニズム解明	800,000
115	生物	竹中 悠人	立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究助教	植物細胞壁の鍵物質であるペクチンの機能解明	590,000
116	生物	比留間 翔太	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻	博士後期課程3年	酵母細胞質分裂における収縮力の発生機構の理解	750,000
117	生物	上村 祥	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科バイオサイエンス専攻	博士後期課程2年	花幹細胞の成長プログラムを変えるクロマチン三次元構造変化と植物ホルモンの蓄積	500,000
118	生物	杉田 宇惇	静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻生物科学コース	修士課程2年	マナコ横切断からの再生実験系を用いた消化管再生機構の解析	650,000

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
119	生物	山下 寛人	岐阜大学大学院連合農学研究所 (配属:静岡大学)	博士後期課程2年	ゲノム情報を活用した茶樹における農業形質の遺伝的解剖と効率的育種基盤の構築	550,000
120	生物	見原 翔子	東京工業大学科学技術創成研究院 化学生命科学研究所	研究員	窒素固定型・ヘテロシスト形成型シアノバクテリアに固有のレドックス制御システムの解明	670,000
121	生物	藤田 裕貴	弘前大学大学院医学研究科	博士課程1年	最初期遺伝子の神経活動依存的な転写調節の時空間制御機構の解明〜遺伝子座特異的な手法から迫る〜	800,000
122	生物	中山 萌絵香	お茶の水女子大学大学院人間文化 創成科学研究科理学専攻化学・生物 化学領域	博士後期課程3年	ANXA4による血液凝固内因系経路の阻害機構	450,000
123	生物	橋本 舜平	名古屋大学大学院生命農学研究所	博士後期課程1年	イネ科作物ソルガムにおける夜低温誘導型開花のしくみに迫る	470,000
124	生物	土生田 宗憲	岡山大学大学院医歯薬学総合研究 科細胞組織学分野	博士課程2年	機能喪失型 Fgf10 モザイク変異マウスの肺表現型解析	687,119
125	生物	中園 智晶	福島県立医科大学医学部システム 神経科学講座	助教	光遺伝学的操作を用いた記憶の記録・想起メカニズムの解明	580,000
126	生物	下村 巖	国立がん研究センター研究所細胞 情報学分野	特任研究員	CRISPR-Cas9により正常細胞へ導入された遺伝子変異の発がんへの寄与率の網羅的探索	800,000
127	生物	藤田 達之	金沢大学大学院自然科学研究科物 質化学専攻	博士前期課程2年	中国大陸から長距離輸送される黄砂バイオエアロゾルの系統分類学的解析とその健康被害の影響評価	0
128	生物	吉澤 拓也	立命館大学生命科学部生物工学科	助教	天然変性タンパク質が制御する光合成サイクル中の巨大な分子複合体の解析	770,000
129	生物	中川 直	鹿児島大学大学院医歯学総合研究 科神経筋生理学分野	助教	発達期大脳皮質の興奮性細胞が作る gap junction ネットワークの全貌解明	640,000
130	生物	島津 舜治	東京大学大学院理学系研究科生物 科学専攻	修士課程1年	シングルセル解析による維管束幹細胞運命決定機構の解明	697,518
131	生物	守 次朗	横浜市立大学理学部	助教	誰が石油分解を“先導”するのか?:BONCAT法を用いた石油分解の鍵微生物の探索	710,000
132	生物	杉原 英俊	東京大学大学院農学生命科学研究 科獣医学専攻	博士課程3年	老化細胞における新規免疫回避機構の解明	700,000
133	生物	小島 新二郎	北里大学大学院獣医学部獣医学科	博士課程2年	Salmonella enterica 血清型 Gallinarum の全身感染メカニズムの解明	500,000
134	生物	碓野 健	岐阜大学大学院連合獣医学研究科 獣医学専攻(配属:帯広畜産大 学)	博士課程3年	授精後に発育する黄体と卵胞の機能制御が牛の子宮機能と胚発育に及ぼす影響	640,000
135	生物	小川 光貴	名古屋大学医学系研究科生物化学 講座機能分子制御学分野	助教	糖転移酵素 EOGT が制御するシグナル伝達経路の解析	750,000
136	生物	渡辺 紘己	東京大学薬学系研究科	特別研究員	Cep57による分裂期中心体の制御機構-多彩異数性モザイク(MVA)症候群発症機構の解明-	700,000
137	生物	李 秋実	九州大学大学院生物資源環境科学 府生命機能科学専攻	博士後期課程3年	黄麹菌 Aspergillus oryzae における有用糖タンパク質の分泌高生産	500,000
138	生物	岩瀬 麻里	京都大学大学院農学研究科食品生 物科学専攻	博士後期課程3年	褐色脂肪細胞機能の活性化制御機構の解明-バイオインフォマティクスの活用と実証-	700,000
139	生物	牧野 支保	東京工業大学細胞制御工学研究セ ンター	研究員	オートファジーによる選択的 tRNA 分解機構の解明	700,000
140	生物	斎藤 草太	埼玉大学大学院理工学研究科生命 科学系専攻生体制御学コース	博士前期課程2年	脳形成遺伝子で知られる機能未知の転写調節 DNA に関するゲノム編集を用いた研究	780,000
141	生物	伊原 大輔	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)分子神経生物学研究室	助教	アクチン結合性転写因子 MKL のトランスロケーションに基づいた SRF 標的遺伝子群の発現メカニズムの解明	800,000
142	生物	千頭 康彦	総合研究大学院大学生命科学研究 科基礎生物学専攻	博士後期課程3年	祖先的昆虫類から探る性決定遺伝子の進化プロセス	700,000
143	生物	延生 卓也	国立循環器病研究センター研究所 生化学部	流動研究員	組織特異的血管透過性制御メカニズムの解明	750,000
144	生物	中嶋 秀行	九州大学大学院医学研究院基盤幹 細胞学	特任助教	ヒト脳オルガノイドを用いた TGF-β シグナル伝達因子 Smad4 変異が脳発生に与える影響	770,000
145	生物	吉田 裕史	京都大学大学院農学研究科地域環 境科学専攻	教務補佐員	カビの行動決定を司る代謝スイッチング機構の解明:糸状菌類の発達制御法開発に向けた新アプローチ	390,000
146	生物	柏木 広子	東京農工大学大学院工学府生命工 学専攻	博士前期課程2年	ミトコンドリア呼吸鎖複合体活性の単一細胞における計測	500,000
147	生物	森田 茜	北里大学薬学部	嘱託助教	血管内皮細胞遊走の促進と抑制のスイッチング制御機構	700,000

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
148	生物	向井 正哉	総合研究大学院大学生命科学研究科基礎生物学専攻	博士課程2年	細胞周期への定量生物学的アプローチ: Cyclin と CDK の定量から細胞周期システムを理解する	510,000
149	生物	秋山 礼良	首都大学大学院東京理工学研究科生命科学専攻	博士後期課程4年	ebony 遺伝子におけるゲノム編集を用いたシス発現調節機構の網羅的解析	720,000
150	生物	神戸 歩	岐阜大学大学院医学系研究科病態情報解析医学	博士課程4年	新規 HBV 感染マウスモデル作製と宿主免疫応答の解析	370,000
151	生物	山崎 寛之	東海大学医学部基礎医学系	奨励研究員	滑膜肉腫原因融合遺伝子 SS18-SSX による DNA 修復異常の解明	600,000
152	生物	品田 真央	東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程獣医学	博士課程1年	犬移行上皮癌における BRAF 遺伝子変異は cancer stemness を規定する	672,177
153	生物	倉田 雅志	京都大学大学院生命科学研究科分子応答機構学分野	研究員	スプライシング阻害活性を持つ活性フラボノイドの臨床応用に向けた標的遺伝子の探索および作用機序の解明	700,000
154	生物	磯田 珠奈子	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士後期課程1年	Wolfiella hyalina を用いたケミカルスクリーニングによる花芽誘導メカニズムの解明	700,000
155	生物	影山 敦子	麻布大学大学院獣医学研究科	共同研究員	哺乳類受精時の亜鉛スパークに関わる亜鉛トランスポーターの機能解明	750,000
156	生物	中谷 友紀	岩手大学大学院総合科学研究科農学専攻動物科学コース	修士課程2年	始原生殖細胞と腫瘍細胞の遊走・転移における共通メカニズムの探索	590,000
157	生物	田中 晶子	神戸薬科大学製剤学研究室	特任助教	ニューロメジン誘導体の脳内送達を目指した鼻腔内投与型 DDS の開発とその肥満治療への展開	550,000
158	生物	木村 遼希	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士後期課程1年	環境応答に寄与する PATROL1 タンパク質の機能解析	563,411
159	生物	助川 桃枝	京都大学大学院生命科学研究科高次生命科学専攻	修士課程2年	神経細胞における RNA 修飾-“個性”を生み出す新たなメカニズム	600,000
160	生物	松浦 雪	首都大学大学院東京理学研究科生命科学専攻	博士後期課程1年	未成熟 RNA の転写後調節を担う新しい核内複合体の解明	750,000
161	生物	貞包 慧	創価大学理工学部共生創造理工学科	助教	DNA 上を移動するモータータンパク質クロマチンリモデラーの光可逆的制御	441,513
162	生物	神山 拓也	宇都宮大学農学部生物資源科学科	助教	ダイズのアーバスキュラー菌根菌依存度に関与する地下部形質の解明と関連 QTL の同定	790,000
163	生物	竹下 俊英	横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科生命環境システム科学専攻	修士課程2年	反応性代謝物による核酸損傷の代謝動態と除去機構に関する基礎的研究	350,000
164	生物	柳 のど香	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生命理工医療科学専攻	博士後期課程2年	心筋肉柱発生過程における核内レセプター受容体結合タンパク質 Arip4 の機能解析	800,000
165	生物	阪東 勇輝	浜松医科大学医学部医科学器官組織解剖学講座	助教	発生期海馬における自発性神経活動: 細胞間コミュニケーションを介した海馬形成機構の理解に向けて	750,000
166	生物	大吞 瑠莉花	帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻	博士前期課程2年	ヒト臨床検査キットを用いた分娩乳牛の血清アルカリフォスファターゼ分画の解析	550,000
167	生物	廣田 敏	東京大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士課程1年	昆虫における細胞内共生に関与する遺伝子の機能解明	589,735
168	生物	林 凌也	首都大学東京大学院理学研究科	修士課程2年	次世代に伝達されるエピジェネティック遺伝機構の解明~環境ストレスによる生殖細胞での発現応答の解析~	373,890
169	生物	中尾 仁美	富山大学大学院生命融合科学教育部先端ナノ・バイオ科学専攻	博士課程2年	PDI タンパク質 ERp29 は分子シャペロンダイマー形成のリンカーとして働くか?	590,000
170	生物	Lai Hung Wei	東京工業大学大学院生命理工学科	博士後期課程1年	ALA 取り込みトランスポーターの阻害: がん細胞における ALA 誘発 PpIX 蓄積の特異性を高める新規戦略	650,000
171	生物	大谷 嘉典	鳥根大学医学部解剖学講座	助教	新規翻訳リードスルー髄鞘タンパク質の量的な変化は末梢神経障害を引き起こす	700,000
172	生物	牛根 奈々	日本獣生命科学大学院獣医学専攻	博士課程1年	渡り鳥における鳥インフルエンザ保有状況と免疫機能からみる流行リスク評価	830,000
173	生物	平田 琢真	横浜国立大学大学院環境情報学府	博士後期課程3年	日本近海における薄甲目コノハエビ類の分類学的研究	120,000
174	生物	吉田 将崇	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士後期課程5年	海棲適応した爬虫類・鳥類に見られる発達した頭部外分泌腺とその血管系の解明	690,000
175	生物	堀 美沙樹	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻海洋生物環境学分野	修士課程1年	ジンベエザメのテロメア長測定手法の確立とストレス指標としての利用	740,000
176	生物	宮崎 彩乃	帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻	修士課程2年	ハップスオウギハクジラ (Mesoplodon carlhubbsi) 頭部の形態学的解析	570,000

別表(1) 2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
177	生物	小森 聡実	北里大学大学院海洋生命科学部海洋生命科学研究所環境生物学専門分野	修士課程2年	化学合成生態系に属するタギリカクレエビの幼生分散機構	491,729
178	生物	大矢 佑基	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻	博士後期課程2年	日本沿岸温暖域におけるニセツノヒラムシ科の分類学的研究	660,000
179	生物	木下 峻一	東北大学大学院理学研究科地学専攻	博士後期課程2年	マイクロX線CTを用いた海水温の変動が大型底生有孔虫の殻成長に及ぼす影響の検証	510,000
180	生物	樋口 貴俊	日本大学大学院生物資源科学研究科生物資源生産科学専攻	博士後期課程3年	ポップアップタグ放流実験と数値シミュレーションによるニホンウナギの産卵回遊生態の解明	647,201
181	生物	吉川 直志	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教科領域教育専攻	修士課程2年	南西諸島に生息するカミキリモドキ科甲虫の海流による分布拡大と性的形質の進化	500,000
182	生物	戸矢 樹	京都大学大学院農学部応用生物学専攻	修士課程2年	魚類の学習と記憶に及ぼす反復訓練、睡眠およびストレスの影響	770,000
183	生物	TAN EE SUAN	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学科	博士課程2年	飼育環境下におけるウスエダミドリイシ Acropora tenuis 生殖腺の発達誘導	540,000
184	生物	米田 壮汰	広島大学大学院統合生命科学研究科	博士後期課程1年	海洋生態系におけるデトリタス食性カラヌス目カイアシ類の機能、特に感覚器官の多様性と食い分け現象の関連	720,000
185	生物	山本 青	東京大学大学院農学部農学生命科学研究科水圏生物学専攻	修士課程2年	人間の漁業活動に依存したオオミズナギドリの採餌戦略の解明	760,000
186	生物	脇田 大輝	北海道大学大学院生命科学学院生命科学専攻	博士後期課程3年	クモヒトデの五放射相称の身体を協調させる神経ネットワークに関する研究	817,576
187	生物	CHEN SIJUN	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物学専攻	博士後期課程1年	窒素固定性藍藻由来紫外線防御物質が亜熱帯動物プランクトン生産に果たす役割の解明	637,693
188	生物	伊藤 浩吉	東北大学大学院農学研究科資源生物学専攻	博士後期課程2年	ホンダワラ類葉上バイオフィルムのメタゲノム解析で「海藻ホロビオント」を解き明かす	660,000
189	生物	遠藤 大輔	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻	博士後期課程1年	アオウミガメ個体群動態解明のための数理モデルの高度化とウミガメ漁管理方策の立案	371,266
190	生物	小山 知洋	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程3年	緑藻シオグサ目藻類の系統分類学的研究 ～発達様式は進化を反映するののか～	740,000
191	生物	原田 明里	上智大学大学院理工学研究科理工学専攻	博士後期課程1年	ヨウジウオ科魚類における育児嚢の多様性進化	880,000
192	生物	小柳 沙織	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程2年	どこで産む?クロハギ属魚類の生活史と繁殖戦略	730,000
193	生物	手良村 知功	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物学専攻	博士前期課程2年	日本近海の深海魚類を対象とした分類群横断的な大規模DNAバーコーディング	660,000
194	生物	Isabel Maria Fernandez Artilles	北海道大学大学院生命科学学院	博士後期課程2年	ツチクジラの睡眠に関わる神経系の構築	590,000
195	生物	倭 千晶	京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻	修士課程1年	無人航空機と画像解析技術を用いた潮間帯藻場におけるジュゴンの摂餌痕検出手法の確立	870,000
196	生物	糠谷 晴彦	名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻	博士前期課程1年	カタユウレイボヤの受精時における自己非自己認識の分子機構に関する研究	640,000
197	生物	吉田 大祐	富山大学大学院理工学教育部生物学専攻	修士課程2年	ゼブラフィッシュにおけるコレシストキニンの中枢機能の解明～情動行動に及ぼすコレシストキニンの影響～	410,000
198	生物	與那嶺 里菜	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻	博士後期課程2年	褐藻類特有の細胞壁多糖からみる褐藻類の進化への考察	720,000
199	生物	片寄 剛	水産研究・教育機構東北水産研究所沿岸漁業資源研究センター	研究等支援職員	東日本大震災が魚類の成育環境に与えた影響	530,000
200	生物	高倉 千紘	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻	博士前期課程2年	カニはなぜ横歩きするのかー甲殻類の逃避行動の比較解析から適応的意義を探るー	560,000
201	生物	史 宗艶	琉球大学大学院理工学研究科	博士後期課程1年	プロテオミクス解析を用いたサンゴ・藻類の共生認識機構の解明	0
202	生物	渋谷 航	北里大学大学院海洋生命科学研究科	博士後期課程3年	トラフグ粘液ケラチンの防御特性の解明	271,959
203	生物	高山 佳樹	創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻	博士後期課程3年	海産浮遊性カイアシ類の継代・大量培養に用いる新規培養装置の開発	500,000
204	生物	丸山 啓太	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻	博士後期課程2年	東京湾奥部の人工環境は魚類にどのような場を提供しているのか?ー出現様式と食性を自然海域と比較するー	501,351

別表（１）２０１９年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
205	生物	古巻 史穂	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コース	博士前期課程 1年	根室海峡におけるナガスクジラの鳴音モニタリング	840,000
206	生物	中本 健太	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター	特任研究員	三陸沿岸における海藻群落の種多様性の形成・維持機構の解明	790,000
207	生物	辰 吉倫	北海道大学大学院環境科学院生態系変動解析分野	修士課程 2年	クロソイは回帰にどのような感覚を用いているのだろうか	760,000
208	生物	香川 理	東北大学大学院生命科学研究所生態発生適応科学専攻生物多様性保全分野	博士後期課程 1年	巻貝と付着藻類の共種分化に関する研究	490,000
209	生物	国広 潮里	一般財団法人沖縄美ら島財団		沖縄本島における多様な生物種を宿主とする無腸類ワミノア属の生態学的・分子生物学的研究	590,000
210	生物	松代 真琳	酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻	博士課程 3年	音声モニタリングによる北海道沿岸におけるカマイルカの日周期性回遊生態の解明	760,000
211	生物	小坂 将	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理学専攻	修士課程 2年	砂からの脱出の経験がアカウミガメの孵化幼体に及ぼす影響について	720,000
212	生物	大町 一実	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻	博士課程 2年	深海流木より分離された細菌が産生する抗菌性タンパク質の機能解析と利用方法の検討	770,000
213	生物	川上 美宇	横浜国立大学大学院環境情報学府自然環境専攻	博士後期課程 1年	生息環境間における白亜紀アンモナイトの殻形態の種内変異の解析	656,709
214	生物	飯田 茜	東海大学大学院生物科学研究科生物科学専攻	博士課程 2年	東南アジアにおける大型クラゲ類の初期生活史の解明～大量発生要因を生活史から探る	285,300
215	生物	和田 英敏	鹿児島大学大学院連合農学研究科	博士後期課程 2年	汎世界的分布種シロカサゴの分散から読み解くグローバルコンベアベルトによる生体輸送システムの実態解明	660,000
216	生物	照井 宙夢	首都大学東京大学院生命科学専攻	博士前期課程 2年	ホヤ初期発生における細胞分裂面の制御機構の解析	540,000
217	生物	中村 祐子	横浜国立大学大学院環境情報研究院	博士研究員	CRISPR/Cas9法を用いた褐藻のゲノム編集技術の検討	750,000
218	生物	高橋 俊輝	筑波大学大学院生命環境科学研究科環境科学専攻	博士前期課程 2年	海洋バクテリアに生成される揮発性有機化合物の定性・定量的評価	590,000
219	生物	閻 乃箏	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	博士課程 2年	広帯域音響技術による無鱈魚の音響反射特性に関する研究	680,000
220	生物	尤 キン星	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻	博士後期課程 2年	ICTを活用してオッターロールの制御に関する研究ーオッターロールシステムの自動制御の試み	690,000
221	生物	Kevin Christian Gulay	北海道大学大学院獣医学院	博士課程 2年	血管内皮細胞の腫瘍化におけるヒストン脱メチル化酵素 KDM2B の役割	590,000
222	生物	ドル 有生	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程 2年	気孔発生パターンの多様性を生み出す分子基盤の解明～アワゴケ属の水草を新たなモデル系として～	720,000
223	生物	高橋 和夫	金沢大学大学院自然科学研究科自然システム学専攻	博士前期課程 1年	トップダウンとボトムアップによる有機農法害虫抑制メカニズムの解明	650,000
224	生物	松山 紘之	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	博士後期課程 1年	シカが増えすぎるとマダニが減る？-生態系エンジニアとその外部寄生者が形成する相互作用の解明-	690,000
225	生物	小山 徳歩	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士前期課程 2年	行動記録および生理的コストの評価による長距離移動を行う海鳥の採餌戦略の解明	600,000
226	生物	藤田 健太郎	神戸大学大学院農学研究科生命機能科学専攻	博士前期課程 2年	汚染物質輸送因子に着目したウリ科作物における作物汚染の農業を用いた低減化	800,000
227	生物	常盤 俊大	日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科	講師	寄生性カリオスポラ属原虫の系統分類からみた鳥類宿主への適応過程	690,000
228	生物	栗田 和紀	京都大学農学研究科	研究員	台湾の爬虫類相解明に向けたアオスジトカゲの分類学的再検討	670,000
229	生物	中野 夏海	奈良県立医科大学大学院医学研究科	修士課程 2年	海をわたれない淡水クラゲがなぜ世界中で発見されているのか？	690,000
230	生物	山口 藍	帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻	修士課程 2年	エゾナキウサギの局所個体群における遺伝的多様性	520,000
231	生物	中越 智也	首都大学東京大学院理学研究科生命科学専攻	修士課程 2年	光をめぐる地上部競争下にある植物の成長に葉の切除が及ぼす影響	130,000
232	生物	大井 真菜	岐阜大学大学院教育学研究科総合教科教育専攻	修士課程 2年	雄性両性異株植物ミヤマニガワリの雄株と両性株の花粉親成功比較と雄決定関連遺伝子伝達の関係の検証	790,000
233	生物	森 智基	信州大学大学院総合工学系研究科	博士後期課程 3年	個体レベルでのツキノワグマの採食生態：新たな生態学的知見と保護管理への提案	400,000

別表（1）2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
234	生物	西村 明洋	京都大学大学院理学研究科植物系統分類学専攻	修士課程1年	海洋島の根寄生植物シマウツボにおける生態と宿主特異性進化の実態	480,000
235	生物	田島 知之	京都大学・学際融合教育推進センター・宇宙総合学研究所	特定助教	青年期の起源：社会性の発達をうながす生理メカニズムの解明	780,000
236	生物	山本 鷹之	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	博士前期課程2年	膜翅目原始系統群の発生学的研究—膜翅目・完全変態類のグラウンドプランの再構築を目指して—	574,542
237	生物	児玉 知理	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	修士課程1年	毒ヘビ類における利用毒量調節能力と採餌様式頻度の関係性の解明	690,000
238	生物	松田 修平	山梨大学大学院医工学農学総合教育部門人間環境工学専攻	博士課程3年	廃棄雑草のみを原料とした低窒素条件下でのメタン発酵におけるメタン生成機序の解析	740,000
239	生物	松原 慧	神戸大学大学院農学研究科生命機能科学専攻	博士後期課程2年	植食性昆虫の落下行動に寄主植物が及ぼす影響：ハムシ科甲虫は木からよりも草から落ちやすいか？	700,000
240	生物	何 海	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学	博士後期課程3年	子房落下の原因となる倍数性間交雑による胚乳異常発生の分子遺伝学的解析	700,000
241	生物	山崎 曜	国立遺伝学研究所ゲノム・進化研究系	特任研究員	日本産ヨシノボリ属魚類における大規模な種間交雑による淡水進出の促進	800,000
242	生物	明主 光	日本大学大学院生物資源科学研究科生物環境科学専攻	博士後期課程3年	アカネズミの染色体種族を隔てる交雑帯の構造の解明	465,586
243	生物	篠原 直登	東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻	博士課程3年	複数栄養段階を含む群集集合のランダム性：群集のランダム性は栄養段階が上がると増幅されるか？	655,177
244	生物	伊藤 翔	新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻流域環境学コース	修士課程1年	魚食性に注目した離島におけるシマヘビ地域個体群の食性に関する研究	517,859
245	生物	大崎 晴菜	弘前大学大学院農学生命科学研究科農学生命科学専攻	修士課程2年	植物間相互作用が促進する植食性昆虫の餌場選択	699,029
246	生物	渡邊 桂佑	富山大学大学院理工学教育部生物学専攻	修士課程2年	魚類の食欲と心を制御する中枢の同定—神経活性化マーカーを用いた魚類脳の機能形態学的解析—	400,000
247	生物	加用 大地	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程3年	真骨魚類メダカを用いたエストロゲンフィードバック機構の解明	630,000
248	生物	本多 里奈	岩手大学大学院連合農学研究科地域環境創生学専攻（配属：弘前大学）	博士課程2年	利益ほどの種に？種混合コロニーにおける非対称な対捕食者行動—ドローンを使った新しい実験手法の提案—	680,000
249	生物	都築 洋一	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻生態遺伝学コース	修士課程2年	分断された植物個体群の長期的な存続可能性の多元的評価—個体群動態と遺伝的多様性の変動解析を用いて	630,000
250	生物	東島 沙弥佳	大阪市立大学大学院医学研究科器官構築形態学	助教	垂直木登り・体幹直立姿勢に適応したコアアの四肢筋骨格形態発生過程の解明：育児嚢内発生に着目して	800,000
251	生物	田邊 智子	京都大学大学院地球環境学舎資源循環学廊生態系生産動態論分野	博士後期課程2年	北方林に生育する常緑針葉樹における地上部成長制限要因の解明	400,000
252	生物	有田 蒔実子	近畿大学大学院農学研究科水産学専攻	博士前期課程2年	アカウミガメの産卵期間中の行動と産卵後にみられる生活史二分化との関連性	550,000
253	生物	中本 幸弘	筑波大学大学院生命環境科学研究科持続環境学専攻	博士後期課程2年	微生物が関与したヨシにおけるウラン及び重金属蓄積機構の解明	570,000
254	生物	田伏 良幸	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士課程1年	ニシローランドゴリラの採食競合による社会関係の変化	480,000
255	生物	相原 隆貴	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物圏資源科学専攻	博士後期課程1年	気候変動に対する樹木の適応戦略の解明—山岳地域に分布するカバノキ属樹木の集団ゲノミクス—	400,000
256	生物	片岡 万柚子	横浜国立大学大学院環境情報研究院土壌生態学研究室自然環境専攻	博士前期課程2年	捕食者（イボトビムシ科）に対する変形菌の行動の反応	450,000
257	複合	宮田 一弘	茨城県立医療大学保健医療学部理学療法学科	助教	高齢者のバランス評価指標の標準化—バランス構成要素の構造に着目した評価指標の開発	650,000
258	複合	大田 隼	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科法歯学分野	博士課程2年	次世代RNA-Seqを用いたヒト口腔常在菌の総転写産物解析による唾液特異的Small RNAの探索	750,000
259	複合	小曾根 海知	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科リハビリテーション学専攻	博士後期課程1年	筋収縮形態の違いに伴うメカニカルストレスが、スポーツ障害発症にどのような影響を及ぼすのか	750,000
260	複合	小川 雪乃	農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門食品健康機能研究領域感覚機能解析ユニット	研究員	発達期の食経験による嗜好性・行動・神経応答変化の解明	550,000
261	複合	川西 範明	千葉工業大学先進工学部	准教授	骨筋筋由来の分泌エクソソームによる骨筋修復・再生効果の検討	600,000
262	複合	奥田 綾	京都大学複合原子力科学研究科粒子線基礎物性研究部門	研究員	中性子小角散乱測定による酸化のフォールディング酵素ER-60のタンパク質分子ダイナミクスの解析	750,000

別表（1）2019年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
263	複合	倉科 佑太	東京工業大学物質理工学院材料系	助教	超音波ネヴィライゼーションによる細胞培養システムの開発	750,000
264	複合	阿部 博弥	東北大学学際フロンティア研究所	助教	再生医療を志向した機能的3次元細胞組織の造形技術：血管模倣構造体の構築	650,000
265	複合	小野 未琴	九州大学大学院システム情報科学府情報学専攻	博士後期課程1年	視覚統合時の素材知覚の検討 - 触覚情報は視覚の素材知覚に影響を及ぼすのか -	739,085
266	複合	矢澤 優理子	千葉大学大学院園芸学研究科環境園芸学専攻緑地環境学コース	博士後期課程2年	河川空間における集落構造と生業による自然資源利用の実態に関する研究	391,951
267	複合	渡辺 智子	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	博士後期課程3年	若年性乳がんの遺伝カウンセリングに資する遺伝情報の把握と活用	750,000
268	複合	水野 雄貴	昭和薬科大学薬学部薬品物理化学研究室	特任助教	多価効果を利用したがんの診断・治療用放射性医薬品の開発	600,000
269	複合	六車 宜央	立命館大学大学院薬学研究科薬学専攻	博士課程1年	アルツハイマー型認知症の早期判別を目的とする新たな簡易的層別化検査法の開発と一滴の血液への応用	600,000
270	複合	篠崎 喜脩	立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	光合成機能を模倣したクロロフィル-色素ドープ型シリカナノ粒子コンポジット薄膜の創製	750,000
271	複合	岡和田 愛実	慶應義塾大学医学部リハビリテーション教室	特任助教	脳卒中重度片麻痺患者に対する視覚誘導性自己運動錯覚の効果は脳波で捉えられるか	578,255
272	複合	松本 智博	熊本大学発生医学研究所	特定事業研究員	骨格筋可塑性における筋幹細胞の幹細胞性維持機構の解明	750,000
273	複合	高橋 成美	長崎大学大学院水産環境科学総合研究科水産学専攻	修士課程2年	東部東シナ海における異なる形態のビタミンB12の分布とそのバクテリアによる生産	650,000
274	複合	前澤 誠希	岐阜大学大学院連合獣医学研究科獣医学専攻	博士課程3年	3歳未満の地方病性牛白血病発症牛におけるエビジェネティックな変異の解析	600,000
275	複合	義本 裕介	京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻	博士後期課程2年	サンリ表皮に含まれる蛍光物質の構造決定とその発光現象の生物学的意義の解明	530,000
276	複合	櫻井 雄基	静岡大学大学院総合科学技術研究科工学専攻	修士課程2年	感温性高分子を用いた熱対流実験	664,071
277	複合	中村 雅俊	新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科	講師	伸張性収縮を用いたCalf-Raiseエクササイズがアキレス腱に及ぼす影響の検討	550,000
278	複合	山田 麻未	名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科理学情報専攻	博士後期課程2年	運動によるp62の活性化を介した骨格筋の抗酸化機能向上機構の解明	550,000
279	複合	櫻井 尚輝	新潟大学大学院自然科学研究科環境科学専攻自然システム科学コース	博士前期課程2年	キルギス共和国、南イルチェク氷河上に出現・消滅する氷河上湖の変動特性の解明	650,000
280	複合	植田 知美	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院工学研究科工学専攻	修士課程2年	SAAのアミロイド線維の基本構造の解明とレーザー照射による続発性アミロイドーシスの治療技術への応用	550,000
281	複合	長谷川 夏輝	立命館大学総合科学技術研究機構	専門研究員	運動による局所的な脂肪蓄積の低下によるアディポカイン分泌が動脈硬化度の低下に及ぼす貢献度の検討	650,000
282	複合	西村 光洋	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻	博士課程4年	線維症病態時のDDS評価法を基盤とした組織線維症の新規治療法の開発	650,000
283	複合	須田 沙織	京都大学大学院理学研究科物理学宇宙物理学専攻	博士後期課程2年	微生物遊泳の新たな分析手法の開発：人工マイクロスイマー研究の観点から	500,000
284	複合	中西 勇斗	神戸大学大学院海事科学研究科海事科学専攻	博士前期課程2年	フジツボ附着期幼生の船底着生を水中青色LED光源で防ぐ基礎実験	870,000
285	複合	長谷川 浩平	北海道大学大学院水産科学研究院海洋生物資源科学部門	助教	噴火湾に分布するスケトウダラ仔稚魚を対象とした自然状態での広帯域音響散乱特性の解明	940,000
286	複合	楊 国勝	量子科学技術研究開発機構量子医学・医療部門高度被ばく医療センター	主任研究員	河川一沿岸域における236Uの起源と動態：全球フォールアウト、原子力事故、核燃料再処理施設排出？	720,000
287	複合	檜谷 昂	東京農業大学大学院農学研究科国際農業開発学専攻	博士後期課程3年	マングローブ生態系が沿岸海域への溶存鉄供給と一次生産性に果たす役割	770,000
288	複合	多田 裕輝	九州大学大学院工学府地球資源システム工学専攻	修士課程2年	沖縄トラフ海底熱水域における金属鉱化作用の鉱物学的・地科学的特徴から見た生成機構について	770,000
289	複合	本田 匡人	金沢大学環日本海域環境研究センター	助教	フナムシを用いた潮上帯を主とした渚域のPAHおよびプラスチックごみ汚染調査	770,000
290	複合	外山 浩太郎	東京大学大学院総合文化研究科	特任研究員	生物起源炭酸塩とケイ酸塩のヘリウム同位体比：海底火山の活動履歴の復元法と噴火予測法の開発に向けて	740,000
291	複合	大星 航	国際医療福祉大学成田保健医療学部医学検査学科	講師	海洋深層水資源の特性に注目したヒトの健康維持増進への利活用	770,000

別表（１）２０１９年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
292	複合	畠山 航平	広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻	博士後期課程 3年	オマーンオフィオライト掘削試料の弾性波速度測定に基づく海洋プレートの地震波速度構造の解明	860,000
293	複合	大熊 祐一	東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻	修士課程 2年	アナログ実験と海洋地質情報に基づく海山沈み込みに伴う海底地形変形過程の解明	760,000
294	複合	田中 達也	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	博士前期課程 2年	ステレオ画像計測による深層学習を応用した魚体自動計測手法の確立	940,000
295	複合	竹原 景子	創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻	修士課程 2年	南大洋における懸濁態・溶存態有機物組成の特徴と分布を探る	830,000
296	複合	林 靖人	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	博士前期課程 1年	沈降粒子の減少に対する物理的な断片化の評価	770,000
297	複合	元山 舞	東京工業大学地球生命研究所	研究員	海洋潮汐に起因する惑星・衛星の力学的進化の研究	713,978
298	複合	竹村 謙信	静岡大学創造科学技術大学院バイオサイエンス専攻	博士課程 2年	局所プラズモン共鳴効果に基づく磁気分離型ナノバイオセンサーの作製と複数ウイルス検出への応用	750,000
299	複合	川又 基人	総合研究大学院大学複合科学研究科極域科学専攻	博士課程 5年	東南極の宗谷海岸地域における最終氷期最盛期以降の氷床後退過程の復元	750,000
300	複合	長根 美和子	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻森林圏フィールド科学コース	博士後期課程 2年	森林土壌における一酸化二窒素発生に対する各プロセスの相対的な寄与の推定と基質・土壌微生物組成の関係	670,000
301	複合	Shin Wonji	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻	博士後期課程 2年	海洋プレート沈み込み帯の低温高压型変成岩における流体の移動とその影響	285,301
302	複合	西尾 天志	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学医情報学専攻医情報コース	博士後期課程 1年	ゲノムサイズ DNA の折りたたみ構造の多様性と遺伝子活性：超好熱菌研究から遺伝子機能制御の本質に迫る	720,000
						188,254,260

別表（２）２０１９年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）

（単位：円）

No.	助成者名	対象領域	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	丸子 理恵	教員・NPO 職員等	一般財団法人奈良の鹿愛護会	獣医師	糞便検査を用いた奈良のシカの寄生虫卵保有状況調査	290,000
2	大原 天青	教員・NPO 職員等	国立武蔵野学院	心理療法士	非行少年に対する「家族合同ミーティング」の実践マニュアルの作成と効果検証	340,000
3	古川 民夫	教員・NPO 職員等	神戸市立盲学校	教諭	指圧刺激を波形や音に変換する装置を用いた、盲学校における客観的な実技指導法の確立に向けた研究	303,480
4	吉田 律人	学芸員・司 書等	公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団横浜開港資料館	調査研究員	都市移住者を結節点とした地域間連携に関する基礎的研究—浴場経営者のデータベース構築を中心に—	310,000
5	近藤 理美	教員・NPO 職員等	特定非営利活動法人エバーラスティング・ネイチャー		小笠原諸島で繁殖するアオウミガメ成体の性比推定-持続可能なウミガメ漁文化に向けて-	290,000
6	東 義昭	学芸員・司 書等	公益財団法人花と緑の銀行中央植物園部	企画情報課主任	海産希少種子植物ウミササの野外調査手法の開発	340,000
7	國眼 厚志	教員・NPO 職員等	兵庫県朝来市立竹田小学校	教諭	障害をもつ人たちのための科学体験活動	190,000
8	葛西 有代	教員・NPO 職員等	総合リハビリ美保野病院リハビリテーション科	言語聴覚士	「かき混ぜ文」理解過程の脳波解析に基づく失語症に対するリハビリテーション	320,000
9	熊谷 佳余子	教員・NPO 職員等	川崎医療短期大学医療介護福祉科	講師	病院で働く介護福祉士に他職種が求める連携課題	274,122
10	畑島 英史	教員・NPO 職員等	長崎県対馬市立仁田小学校	教諭	対馬の海を支える農業の役割	320,000
11	市川 寛也	教員・NPO 職員等	東北芸術工科大学芸術学部美術科	専任講師	重要伝統的建造物群保存地区における保存物件の創造的活用モデルの構築—岩手県胆沢郡金ケ崎町の事例から	330,000
12	小河原 孝彦	学芸員・司 書等	糸魚川市教育委員会事務局フォッサマグナミュージアム文化振興課学芸係	主事・学芸員補	人工知能による深層学習を利用した糸魚川の海岸にある岩石の自動分類装置の開発	300,000
13	辻井 左恵	教員・NPO 職員等	特定非営利活動法人集合住宅維持管理機構	事務局長	超高層マンションの安全・安心な暮らしを学ぶ、子ども向け学習教材とプログラムの開発—未来の住まい手育成	290,000
14	中村 清美	教員・NPO 職員等	神戸市立須磨海浜水族園	学芸員	牛窓周辺海域におけるスナメリの新たな市民観察会システムの開発	290,000
15	森田 剛光	教員・NPO 職員等	特定非営利活動法人ネパール避難所・防災教育支援の会	代表理事	アクティブラーニング型都市防災教育実践の比較を通じた国際技術移転のモデル化と普及	290,000
16	横山 エミ	学芸員・司 書等	筑波大学附属視覚特別支援学校高等部専攻科鍼灸手技療法科	教諭	特別支援学校における理療教育の史的分析 明治期からの点字図書を対象とした文献調査から	370,000
						4,847,602

別表（3）2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
1	谷口 京子	名古屋大学アジア共創教育研究機構	日本学術振興会・特別研究員	Comparative and International Education Society	Analysis of Student Achievement Growth Using Equating in Item Response Theory: A Case of Malawi	240,000
2	松尾 俊輔	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	教務補佐員	Latin American Studies Association	La política deportiva en el Uruguay batllista: auges, conflictos, y decadencias en la historia política uruguaya (1911-1933)	236,000
3	安藤 佑介	瑞浪市化石博物館	学芸員	7th Symposium on Mesozoic and Cenozoic Decapod Crustaceans	Fossil Thalassina (Decapoda, Thalassinidae) of Japan: Revisited	214,000
4	蘇 浩	関西大学大学院東アジア文化研究科	博士後期課程3年	The 11th Annual Meeting of Society for Cultural Interaction in East Asia Conference Theme this Year: Moving Knowledges in East Asia and Beyond—Global Networks in the History of Science and Technology	Dunhuang scholars Luo Zhenyu's contact with Japanese calligrapher Yamamoto Kyozan : centering on unpublished letters and written conversation in Japan	90,000
5	浅見 祐也	学習院大学	助教	International Symposium on Molecular Beams 2019	Gas phase resonance Raman spectroscopy of huge biomolecule by IR-ablation of droplet beam: local structure in isolated heme protein	300,000
6	後藤 和宏	相模女子大学人間社会学部	准教授	Comparative Cognition Conference	Discrimination of relative numerosity and assessment of the SNARC effect in mice	133,000
7	和川 拓	水産研究・教育機構日本海区水産研究所資源環境部海洋動態グループ	任期付研究員	8th EGO Meeting and International Glider Workshop	Observations of oceanic fronts and water-mass properties in the central Japan Sea: hydrographic surveys from gliders	232,000
8	飛内 悠子	盛岡大学	准教授	European Conference on African Studies 2019	Who Are the 'Born Again?': Findings from Interviews with Christian Church Members in South Sudan and Uganda	141,000
9	浅岡 聡	神戸大学内海域環境教育研究センター海洋環境管理研究室	助教	4th Green and Sustainable Chemistry Conference	Remediation of eutrophic sediments using granulated coal ash derived from coal-fired generation	240,000
10	金居 督之	株式会社 PREVENT	理学療法士	World Confederation for Physical Therapy Congress 2019	Relation between physical activity and environmental factors in community-dwelling ambulatory patients with stroke	225,000
11	韓 佳琳	大阪府立大学工学研究科海洋システム工学	助教	38th International Conference on Ocean, Offshore & Arctic Engineering	Study on attitude control of a cabin-suspended catamaran by using a double-loop control system	300,000
12	鈴木 由希	奈良県立医科大学微生物感染症学講座	博士課程3年	29th European Congress of Clinical Microbiology and Infectious Diseases	Species distribution and carbapenemase-genes among Aeromonas spp. isolated from environment in the Philippines	217,000
13	NICHOLAS ASPEETERS	早稲田大学大学院政治学研究科国吉研究室	博士課程3年	2019 SHAFR Annual Meeting	Visions and Divisions of a New Free World Economic Council: The OECD, Transatlantic Relations, and the Question of Japan, 1959-1961	161,000
14	小野 公輔	東京理科大学	助教	14th International Symposium on Macrocyclic and Supramolecular Chemistry	Endohedral Functionalized Oligophenylene Rings and Cages	203,145
15	高場 智博	明治大学大学院文学研究科地理学専攻	博士後期課程3年	European Geosciences Union General Assembly 2019	Landform development on the eastern Tsukushi Plain, southwest Japan, since deposition of the Aso-4 pyroclastic flows	219,000
16	金子 浩一	宮城大学事業構想学群	准教授	European Network of Japanese Associations, the 9th conference	講演「海外の補習授業校に関する調査研究より」	204,557
17	平 義隆	産業技術総合研究所分析計測標準研究部門放射線イメージング計測研究グループ	主任研究員	5th International Conference on Optical Angular Momentum	Gamma-ray vortices emitted from nonlinear inverse Thomson scattering of circularly polarized light	300,000

別表(3) 2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

(単位:円)

No.	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	集会名称	発表題目	確定額
18	張 暁賓	芝浦工業大学 SIT 総合研究所	准教授	10th International Conference on Materials for Advanced Technologies (ICMAT 2019)	Atomically Controlled Processing of Graphene by Electron Beam	160,000
19	井上 幸男	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻水圏植物生態学研究室	博士後期課程2年	23rd International Seaweed Symposium	The effects of velocity and canopy deformation on the photosynthesis of a seaweed bed in a recirculating flow chamber.	106,000
20	山中 真人	大阪市立大学	特任助教	15th International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering (ICCMSE2019)	Asymmetry of matter/antimatter in the universe from a quantum interference effect	200,000
21	丸山 友美	法政大学	兼任講師	MEDIATIONS: DISABILITY, TECHNOLOGY, AND THE ARTS	Disability Representation in Japanese Television Documentary: The Case of 'NNN Document' (1970 -)	152,000
22	林 千里	群馬大学大学院理工学府理工学専攻物質・生命理工学領域環境調和型材料化学研究室	博士後期課程2年	BIOPOL2019	Synthesis and characterization of biobased poly(Schiff-base) derived from furfural	197,000
23	五賀 友継	筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻スポーツ政策学研究室	博士後期課程3年	2019年第13届东北亚体育运动史学术研讨会	關於日本弓道競技得分制形成過程的考察:以東北帝國大學主辦之全國高等專門學校弓道大會為對象	88,000
24	高橋 佳代	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科	准教授	The 11th Biennial Conference of the International Society of Critical Health Psychology	How psychologists work in remote island areas-Focus on development assistance-	223,000
25	有川 幹彦	高知大学理工学部生物科学科動物生理学研究室	准教授	10th International Congress of Comparative Physiology and Biochemistry	Effect of temperature on resting cyst formation in ciliated protozoan Colpoda cucullus	284,000
26	二文字屋 脩	早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター	講師	VI International Multidisciplinary Scientific Conference on Social Sciences & Arts	The Art of Dodging: Anarchism among the Mlabri in Northern Thailand	241,338
27	織田 麻衣	群馬大学大学院医学系研究科分子細胞生物学分野	研究員	The ISN-ASN Meeting 2019	Analysis of TRPC5 expression in developing retina	177,000
28	鷹尾 康一朗	東京工業大学	准教授	GLOBAL/Top Fuel 2019	Development of Acid Leaching Method to Retrieve High-level Wastes from Nuclear Waste Glass	203,000
29	橋本 徹	横浜国立大学大学院工学研究院機能の創生部門	助教	20th IUPAC International Symposium on Organometallic Catalysis Directed Towards Organic Synthesis	Iron Salt-Catalyzed Cross-Coupling Reaction of Alkyl Halides with Aryl Grignard Reagents.	279,000
30	山田 昌樹	信州大学理学部理学科地球学コース	助教	20th Congress of the International Union for Quaternary Research (INQUA) 2019	The sedimentary record and numerical simulation of a tsunami associated with the 7.3 ka eruption of the Kikai volcano, Japan	300,000
31	奥田 徹哉	産業技術総合研究所生物プロセス研究部門	主任研究員	25th International Symposium on Glycoconjugates	Induction of anti-oligosaccharide IgG antibodies that recognize mammalian glycoproteins by immunization with novel artificial glycosphingolipids	300,000
32	角野 貴志	高知大学農林海洋科学部水族環境学研究室	特任研究員	EMBO Workshop The molecular life of diatoms	Expression patterns of predicted viral ORFs of diatom-infecting DNA viruses	241,000
33	矢作 忠弘	日本大学薬学部	助教	American Society of Pharmacognosy 2019 Annual Meeting	Quality evaluation of doping target crude drugs by LC-TOF/MS	247,000
34	佐藤 臨	首都大学東京都市環境科学部	特任研究員	World Congress of Malacology 2019	Co-evolution between predator and prey: specific defensive behavior of Satsuma land snails against snail-eating fireflies in the Ryukyu Islands of Japan.	242,000

別表（3）2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
35	山下 良平	石川県立大学生物資源環境学部環境科学科地域計画学研究室	准教授	16th Pacific Regional Science Conference Organizer (PRSCO 2019)	Discomfort for disseminating solar panels may be transmitted among citizens and lead to a more radical consciousness: Discussion based on residence-based hotspot analysis	98,000
36	平原 南萌	創価大学理工学部	助教	IWA Conference on Algal Technologies and Stabilization Ponds for Wastewater Treatment and Resource Recovery IWAAlgae 2019	Effect of predatory control on wastewater treatment using algal -bacterial system in high rate algal pond (HRAP)	210,704
37	白井 香里	新潟大学大学院自然科学研究科	博士後期課程3年	6th International conference on the chemistry and physics of the transactinide elements (TAN19)	Isothermal gas chromatography of Zr and Hf at off-line experiment for gas-phase investigation of Rf	260,000
38	山下 知子	医療法人社団至高会たかせクリニック地域医療研究部	研究員	The 41st International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	Foot care to improve physical function and prevent falling of frail elderly adults with and without dementia	298,000
39	亀渕 萌	東京理科大学理学部第一部化学科	助教	The 23rd International Symposium on the Photochemistry and Photophysics of Coordination Compounds (ISPPCC 2019)	Multicolor Tuning in Emissive Transparent Film by pH and Proton Conduction	151,000
40	酒井 理	京都大学理学研究科生物科学専攻動物行動学研究室	研究員	A joint meeting of the 56th Annual Conference of the Animal Behavior Society and the 36th International Ethological Conference	Does different energy intake gradually promote personality variation in a clonal gecko species?	163,000
41	橋本 征奈	神奈川大学	ポストドクター	FEMTO14	Generation of Near-UV 5-fs Pulse Laser to Clarify Charge Transfer Dynamics	189,000
42	伊藤 真	京都大学大学院地球環境学西川研究室	教務補佐員	A joint meeting of the 56th Annual Conference of the Animal Behavior Society and the 36th International Ethological Conference	Female calls reduce intraspecific or interspecific sexual coercion in two Japanese pond frogs	233,074
43	羽田 裕貴	茨城大学	博士特別研究員	International Union for Quaternary Research, 20th Congress	Abrupt hydrographic changes in the northwestern Pacific response to the ice melting in the North Atlantic during MIS 19 based on ultra-high-resolution oxygen isotope records from the Chiba composite section, east-central Japan	223,000
44	花 暁波	京都大学東南アジア地域研究研究所	機関研究員	Summer School on Researching Land Governance and Land Relations in the Mekong Region	Reconsidering land system changes in Asian borderland: Insights from the China-ASEAN borderland	99,070
45	梁 正樹	埼玉大学理工学研究科素粒子論研究室	研究支援員/非常勤講師	FLASY2019: 8th Workshop on Flavor Symmetries and Consequences in Accelerators and Cosmology	Lopsided texture compatible with thermal leptogenesis in partially composite Pati-Salam unification	112,000
46	松田 靖弘	静岡大学大学院工学領域化学バイオ工学系列	准教授	Advances in Polymer Science and Rubber Technology	Change of Structure and Viscosity Enhancement of a Double-helical Polysaccharide, Xanthan Induced by Thermal Renaturation	135,805

別表（3）2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
47	進藤 直哉	九州大学大学院薬学研究院創薬ケミカルバイオロジー分野	助教	EFMC International Symposium on Advances in Synthetic and Medicinal Chemistry (EFMC-ASMC'19)	Selective and reversible modification of kinase cysteines with chlorofluoroacetamides	222,000
48	南 彰	静岡県立大学大学院薬学研究院生化学講座	講師	25th International Symposium On Glycoconjugates	Role of sialidase in hippocampal memory processing	300,000
49	豊島 ゆう子	東北大学大学院文学研究科中国思想研究室	博士後期課程3年	江南儒学国際研究会	黄宗羲《明儒学案・諸儒学案》研究	80,000
50	土岐 文乃	東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻都市・建築デザイン学講座	助教	36th Annual Conference of the Society of Architectural Historians, Australia and New Zealand	Approaches to the Bungalow Beyond Time and Distance. Notes of comparison between India, United Kingdom, and Australia.	176,000
51	下川 倫子	福岡工業大学	助教	XXXIX. Dynamics Days Europe	Breakup of falling droplets by instability of vortex ring	170,000
52	植村 まどか	京都外国語大学大学院	博士後期課程3年	II Coloquio de Arqueología de Nicaragua	Proyecto Matiguás 2019 – Últimos resultados arqueológicos y avances del trabajo comunitario-	240,000
53	山口 康太	東京海洋大学	日本学術振興会特別研究員 (PD)	2019 Cryogenic Engineering Conference and International cryogenic Materials Conference (CEC/ICMC 2019)	Development of a cryo-rotary joint for thermosyphon cooling system up to 1000 rpm	276,000
54	平岩 将良	農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門昆虫制御研究領域昆虫相互作用ユニット	研究員	Island Biology 2019	Evolution of large flowers adapted to small pollinators in oceanic islands	237,000
55	坂田 有実	名古屋大学大学院生命農学研究科	博士後期課程3年	the 25th IUFRO World Congress	NGO Networks for the Spread of Customary Forests in Jambi, Indonesia	240,000
56	阿久根 晋	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻歴史文化社会論講座	博士後期課程3年	The 11th International Convention of Asia Scholars	Consequential Information Clusters visible in Jesuit Reports on Martyrs and Apostates in the Fading Japanese Mission	164,000
57	寺内 正彦	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科	特任助教	8th International Conference on Mechanics of Biomaterials and Tissues	Comparative evaluation of the various bone substitutes for bone regeneration at peri-implant defects in dogs	240,000
58	落合 博	広島大学大学院統合生命科学研究所	講師	Symposium on Single Molecule & Chromatin	Genome-wide analysis of transcriptional bursting-induced noise in mammalian cells	159,869
59	下本 英津子	日本福祉大学	非常勤講師	The Wisdom for Living with Natural Disasters. - Initiatives by Local Residents due to Changes in their Society-	Disaster Culture on Waju	60,000
60	松井 英明	鹿児島大学水産学部水産資源科学分野	特任研究員	Aquaculture Europe 2019	The microalga Isochrysis as an enrichment diet for rotifers: effects of harvest timing on rotifer vitality and fatty acid profiles	175,000
61	SHARMIN SHISHIR	富山大学研究推進機構極東地域研究センター	博士研究員	2019 6th International Conference on Environmental Systems Research (ICESR 2019)	Factors important to the current distribution and conservation of threatened Shorea robusta forest	179,880
62	畔田 暁子	明星大学	教員（講師）	InSEA SEMINAR- Art Education: Conflicts and Connections	A Comparison between Art Appreciation Education and Information Literacy Education in Japan	128,000
63	藤川 美代子	南山大学人文学部人類文化学科	准教授	The 7th East Asian Island and Ocean Forum	「『よい石花菜』とは何か：テングサの売買をめぐる阿嬭・男的・原住民・卸し業者の関係性」	78,628
64	辻井 浩希	小笠原ホエールウォッチング協会	研究員	World Marine Mammal Conference 2019	Diel variation in humpback whale singing activity off Chichi-jima Island, Ogasawara, Japan	135,000

別表（3）2019年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
65	中山 英俊	長野工業高等専門学校	准教授	64th Annual Conference on Magnetism and Magnetic Materials	Theoretical Study on Lowering Loss of Skin Effect Suppressed Multi-layer Transmission Line with Positive/Negative (Cu/NiFe) Permeability Materials for High Data-Rate and Low Delay-Time I/O Interface Board	220,000
66	阿部 博和	岩手医科大学全学教育推進機構教養教育センター生物学科	助教	The Fourth Asian Marine Biology Symposium	Identification guide to the planktonic larvae of marine annelids in Japan	103,000
67	塩崎 彬	国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ	支援研究員	World Marine Mammal Conference, Barcelona 2019	Investigation for the helminthic parasites of odontocetes using stranded/by-caught individuals in Japan	124,000
68	菊池 夢美	京都大学野生動物研究センター	特定研究員	World Marine Mammal Conference	Behavior of adult female and its weaned calf in the Amazonian manatee after releasing into the river.	219,000
69	檜木野 宏	山口大学	助教	236th ECS Meeting	Development of Heterojunction Solar Cells Comprising of Boron-Doped Silicon-Carbon Based Semiconductor Thin Films and n-Si	233,000
70	川井田 俊	島根大学エスチュアリー研究センター水圏生態研究部門	助教	The 4th Asian Marine Biology Symposium	The role of crabs having cellulose digestion ability in mangrove organic carbon processing	125,000
71	加治屋 勝子	鹿児島大学農学部食料生命科学科	講師	International Medicine & Health Sciences Congress 2019	Raphanus sativus cv. Sakurajima Daikon as a functional vegetable may improve vascular endothelial function	290,000
72	澁谷 未央	千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科	講師	2019: World Marine Mammal Science Conference	Seasonal characteristics of diving behavior of spotted seals in Rebun Island, Hokkaido, Japan	188,000
73	岡本 康汰	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻琉球島嶼生物地理学研究室	博士後期課程1年	9th World Congress of Herpetology	Changes in genetic structure of hybrid zones between two Gekko species over 18 years	164,000
74	山口 智広	工学院大学先進工学部応用物理学科結晶成長研究室	准教授	The 3rd International Symposium of the Vacuum Society of the Philippines	RF-MBE Growth of Mg-Doped InN Films Using Droplet Elimination by Radical Beam Irradiation Method	155,000
						14,551,070

別表（４）２０１８年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表

No.	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	黄 潔	女	中国	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 東南アジア地域研究専攻	博士課程 5年	西南中国トン族の「カン」組織に関する研究 -華南・東南アジアのタイ系民族の前近代、記憶と現在-
2	人文・社会	出口 奈緒子	女	日本	東京学芸大学大学院連合 学校教育学研究科	博士後期課程 3年	自閉症スペクトラムのある夫を持つ妻の結婚生活の始まり—再形成モデル構築に向けた基礎的研究
3	数物・工学	阿部 翠空星	男	日本	大阪市立大学数学研究所	専任研究員	ハンドル体結び目の彩色数不変量と量子不変量の深化と統一
4	数物・工学	遠藤 雅実	男	日本	東京大学大学院新領域創 成科学研究科社会文化環 境学専攻	博士後期課程 3年	東京湾奥部の干潟・浅場における青潮水塊の動態と底生生物に与える影響の解明
5	化学	朴 貴煥	男	韓国	岐阜薬科大学大学院薬品 化学研究室	博士課程 1年	不均一系白金族触媒を用いた簡便重水素標識化法の開発
6	化学	小川 直希	男	日本	京都大学大学院薬学研究 科	博士後期課程 1年	縮環アズレンを核とする多環芳香族炭化水素の創生とその応用
7	生物	荒井 泰葉	女	日本	京都府立医科大学医学研 究科感染症病態学教室	博士研究員	鳥インフルエンザウイルスの宿主適応メカニズムの解明
8	生物	三田 真理恵	女	日本	東京大学大学院総合文化 研究科広域科学専攻生命 環境科学系	博士後期課程 1年	グルコース代謝を可視化する新規蛍光型分子センサーの開発
9	生物	喜瀬 浩輝	男	日本	琉球大学大学院理工学研 究科	博士後期課程 1年	ヤドリスナギンチャク科の宿主転換による多様化の解明に向けた基礎的研究
10	生物	北村 知也	男	日本	東京大学大学院農学生命 科学研究科獣医学専攻	博士課程 4年	日本在来コウモリのウイルス叢探索～日本のコウモリは病原ウイルスを媒介しているのか？～
11	複合	古山 貴文	男	日本	同志社大学研究開発推進 機構	特別任用助手	視聴覚統合による物体認識に必要な神経機構：コウモリを用いた研究
12	複合	西 信哉	男	日本	慶應義塾大学大学院理工 学研究科基礎理工学専攻	博士後期課程 1年	ホウ素化合物による立体選択的グリコシル化反応を駆使した大腸菌由来糖鎖の合成と複合糖質ワクチンへの応用
13	海洋関連研究	片境 紗希	女	日本	富山大学大学院理工学教 育部生物圏環境科学専攻	博士課程 1年	地下水の長期変化に伴う水・物質輸送の変化と沿岸海域への影響把握—海底地下水湧出に着目して—
14	海洋関連研究	徐 鵬	男	中国	東京海洋大学大学院応用 環境システム学専攻	博士後期課程 2年	波力発電におけるパラメトリック励振の利用に関する実験的研究
15	実践	波名城 翔	男	日本	宮古島地域精神医療保健 福祉研究会	代表	大規模離島における精神障害者支援に関する研究-沖縄県先島諸島、長崎県壱岐・対馬の調査から-
16	実践	佐藤 萌	女	日本	京都服飾文化研究財団	アシスタント・コンサバ ター	服飾文化財に用いられたプラスチックの同定および劣化状態の把握とその最適な収蔵方法の提案

別表（５）２０１９年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表

（単位：冊数）

No.	寄贈対象大学	第 1 回	第 2 回	第 3 回
		5 月	6 月	6 月
1	南京大学	80	821	
2	江南大学	102		
3	上海交通大学	47		
4	上海海事大学	27		
5	寧波大学	323	32	
6	蘭州大学	63		
7	貴州大学	27		
8	雲南大学	131	78	
9	広西師範大学	51		
10	吉林大学珠海学院	801	28	
11	延辺大学	276	70	
12	吉林大学	203		
13	東北師範大学	48	61	
14	北華大学	164		
15	中国医科大学		34	
16	大連外国語大学	825		
17	遼寧師範大学	19		
18	大連理工大学	21		
19	遼寧対外経貿学院	74		
20	大連民族大学		109	
21	瀋陽師範大学	51	40	
22	渤海大学	32		
23	内蒙古大学	18		
24	内蒙古師範大学	205	51	
25	青海民族大学	36		
26	東北大学秦皇島分校	15		
27	中国人民大学		105	
28	中国農業大学	1,273	241	
29	国際贈書中心	153	32	1,000
30	天津外国語大学	11		
31	山東大学	103	54	
32	山東大学（威海）	74	43	
33	中国海洋大学	148		
34	華東師範大学	42		
35	上海師範大学	31	142	
36	上海外国語大学	6,542	3,789	
37	華東理工大学	96	357	
38	復旦大学	82		
39	浙江越秀外国語学院	778	2,105	
40	嘉興学院	1,066		
41	四川外国語大学	153		
42	井岡山大学	1,868	1,725	
43	中南財經政法大学		385	
44	武漢大学		52	
45	湖南大学		312	
46	雲南民族大学	52	904	
47	雲南大学滇池学院	71	27	
48	吉林外国語大学	1,460	92	
49	湖南科技学院	1,025	478	
50	暨南大学	1,133	1,238	
51	東北財經大学	1,014	486	
52	南京工業大学	1,823	5,797	
53	延安大学	61	5,902	
	回数別寄贈合計	22,698	25,590	1,000
	寄贈合計			49,288

別表(6) 2019年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表

No.	氏名	学校名	学年	性別	研究テーマ	メンター/アシスタント氏名	所属先
1	河島 真冬	茨城県立並木中等教育学校	5年生	女	シロツメクサの就眠運動について	中嶋 信美	国立環境研究所
						小野 道之	筑波大学
2	木上 晴登	広島県立広島国泰寺高等学校	2年生	男	オジギソウの葉が閉じなくなる現象について	長谷部 光泰	基礎生物学研究所
						真野 弘明	基礎生物学研究所
3	熊澤 有紗	東京農業大学第一高等学校	2年生	女	粘菌は菌類と共生出来るのか	出川 洋介	筑波大学
						吉橋 佑馬	筑波大学
4	大山 淳史	攻玉社高等学校	2年生	男	クロオオアリの栄養の貯蔵と共有	長谷川 英祐	北海道大学
5	川口 聡貴	灘高等学校	3年生	男	新規骨格の発光材料を作ろう!	若宮 淳志	京都大学
6	伊藤 颯矢	宮城県古川黎明高等学校	3年生	男	回折格子を用いた流星の分光観測	山本 真行	高知工科大学
7	杉原 悠太	名古屋大学教育学部附属高等学校	2年生	男	気象衛星の画像解析から求めた月と地球の軌道	三浦 裕一	名古屋大学
8	上田 涼太	東京都立小松川高等学校	3年生	男	銅樹の成長速度と溶液の関係について	芹澤 信幸	慶應大学
9	久保田 くるみ	法政大学第二高等学校	3年生	女	カルボン酸とアルコールによるエステル合成	西野 貴司	北里大学
10	平沼 昌太郎	開成高等学校	3年生	男	ラットの恐怖条件付け、文脈に焦点を当てた消去過程	山田 一夫	筑波大学
11	池部 璃奈	順天高等学校	2年生	女	ニンニクの抗菌性に対する食物中の乳酸菌の耐性の違い	岩室 祥一	東邦大学
						小川 大輔	東邦大学
12	長島 大来	渋谷教育学園幕張高等学校	2年生	男	甲虫の歩行について	菊地デイル万次郎	東京工業大学
13	本坊 優吾	東海大学付属望星高等学校	4年生	男	音力発電における集音機構最適化に関する研究～発電都市Tokyoを目指して	中嶋 宇史	東京理科大学
						橋爪 洋一郎	東京理科大学
14	沼尾 侑亮	攻玉社高等学校	3年生	男	自然史標本としての標本の活用	川田 伸一郎	国立科学博物館
15	飯田 和生	安田学園高等学校	3年生	男	セイヨウミツバチは人工甘味料を飲むのか?	岡田 龍一	神戸大学
16	山田 海斗	名古屋大学教育学部附属高等学校	2年生	男	重力測定による地球半径の決定	三浦 裕一	名古屋大学
17	櫛 朋央	茨城県立竹園高等学校	2年生	男	セルロースを溶解したイオン液体中に生じた暗褐色物質は何か	後藤 博正	筑波大学
18	三野 正太郎	宮城県古川黎明高等学校	2年生	男	回折格子を用いた流星の分光観測	山本 真行	高知工科大学
19	河原 羽夢	愛媛県立長浜高等学校	2年生	女	Ca ²⁺ によるクラゲの刺胞射出抑制のメカニズムの解明～クラゲ予防クリーム『JELLY'S GUARD』の改良を目指して～	高田 裕美	愛媛大学
20	中野 優子	皇學館高等学校	1年生	女	フジノハナガイの行動と生活史の解明	木村 妙子	三重大学
21	遠田 剛志	海城高等学校	1年生	男	リップルマークはどのようにできるのかー水理条件や粒径の違い、転動距離の確率的分布などからメカニズムを考える	山口 直文	茨城大学
22	野田 晃司	清風高等学校	1年生	男	シマミミズ <i>Eisenia fetida</i> を用いたヘドロ堆肥化の可能性	金田 哲	国立研究開発法人 農研機構
23	平野 りん	洗足学園高等学校	1年生	女	メタンハイドレートの分析及び、環境に配慮した上で私たちの生活に本当に活用できるのか	藤田 貢崇	法政大学
24	川村 佳未	洗足学園高等学校	1年生	女	粘性の強い流体を作る～粘性を生み出す正体～	斎藤 拓	東京農工大学
25	清水 亮祐	茨城県立並木中等教育学校	1年生	男	植物系廃材を利用したバイオエネルギー～身近にあるエネルギー源の有効利用に向けて～	豊谷 要	和洋女子大学
26	森下 礼智	東京シュレ葛飾中学校	1年生	男	音楽聴取によるモチベーションと記憶力の関係について	大上 真礼	金沢学院大学
27	高倉 幹太	海城高等学校	1年生	男	柱状節理の断面の形と溶岩の粘性の関係	秋葉 祐里	山梨大学
28	池田 隼	海城高等学校	1年生	男	操作性と応用性に優れたポータブル赤道儀の開発	椎名 達雄	千葉大学
29	有川 慶彦	千葉県立千葉高等学校	1年生	男	鳥類における胸骨と叉骨の癒合について	土岐田 昌和	東邦大学
29名	22校					メンター: 31名、アシスタント: 3名	

別表（7）役員名簿

（2020年3月31日現在）

役職	常勤・ 非常勤	氏 名	就任 年月日	担当職務	現 職 (専門分野)
会長	非常勤	大島 美恵子	2012年 4月1日	業務の議決 ・執行等	東北公益文科大学名誉教授 (生物化学)
常務理事	常 勤	石倉 康弘	2018年 6月15日	会長補佐 日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
同	同	佐々木 文君	2017年 6月28日	日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
理事	非常勤	川口 春馬	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)
同	同	木村 龍治	同	同	東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)
同	同	高橋 正征	同	同	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)
同	同	和崎 春日	同	同	中部大学国際関係学部教授 (文化人類学)
同	同	山崎 壮	2016年 6月10日	同	実践女子大学生生活科学部食生活科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物化学)
監事	非常勤	菅井 明則	同	業務執行等の監査	(公財)笹川平和財団常務理事

別表（8）評議員名簿

（2020年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
評議員	非常勤	梶 英輔	2012年 4月1日	決算の承認等	北里大学名誉教授 (薬学、医薬品化学)
同	同	門野 泉	同	同	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)
同	同	梅干野 晃	同	同	放送大学客員教授 東京工業大学名誉教授 (都市建築環境工学)
同	同	渡邊 雄一郎	同	同	東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)
同	同	今里 智晃	2016年 6月10日	同	広島大学名誉教授 (辞書学)
同	同	西原 祥子	同	同	創価大学理工学部共生創造理工学科教授 (糖鎖生物学)
同	同	前野 隆司	同	同	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント学 科教授 (システムデザイン・マネジメント、ロボティクス、幸 福学、感動学、協創学等)
同	同	前田 晃	2017年 11月14日	同	(公財)日本財団専務理事

2019年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2020年 5月13日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 大島 美恵子

2019年度事業報告書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2020年 5月15日

公益財団法人 日本科学協会

監事 菅井明則 印